

飯塚 敦 (いづか あつし)
657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町 1-1
神戸大学・都市安全研究センター
電話(078)803-6029, 6602, Fax (078)803-6602, 6394
e-mail iizuka@kobe-u.ac.jp

学歴・職歴

昭和 52 年 3 月 大阪府立茨木高等学校卒業
昭和 56 年 3 月 京都大学工学部土木工学科卒業
昭和 58 年 3 月 京都大学大学院工学研究科博士前期課程土木工学専攻修了
昭和 61 年 3 月 京都大学大学院工学研究科博士後期課程土木工学専攻研究指導認定退学
昭和 63 年 9 月 工学博士 (京都大学)

京都大学工学部土木工学科助手 (昭和 61 年 4 月), 金沢大学工学部土木建設工学科助手 (昭和 63 年 12 月), 金沢大学工学部土木建設工学科助教授 (平成 5 年 12 月), 神戸大学工学部建設学科助教授 (平成 9 年 4 月), 神戸大学都市安全研究センター助教授 (平成 16 年 7 月), 神戸大学都市安全研究センター教授 (平成 17 年 4 月) を経て, 現在,

神戸大学都市安全研究センター教授 (リスク・アセスメント研究部門, 地盤環境リスク評価研究分野) 兼, 神戸大学工学研究科市民工学専攻教授 (環境共生工学講座, 広域環境工学教育研究分野). 内,

米国コロラド大学ボルダー校客員研究員 (ポスドク) (平成 2 年 8 月から 1 年間), タイ国アジア工科大学院大学客員教官 (文部省在外研究員) (平成 5 年 9 月から 3 か月), 米国バージニア工科大学客員研究員 (文部省在外研究員) (平成 8 年 3 月から半年).

21 世紀 COE「安全と共生のための都市空間デザイン戦略」事業推進担当者 (安全デザイン戦略研究担当)
(平成 15 年 7 月～平成 20 年 3 月)

神戸大学自然科学系先端融合研究環 戦略的重点研究チーム「災害リスク減災戦略研究」リーダー (平成 19 年 4 月～平成 26 年 3 月)

神戸大学学内発卓越研究プロジェクト「共生的安全に基づく生活空間工学の創生」事業推進担当者 (平成 19 年 4 月～平成 22 年 3 月)

神戸大学自然科学系先端融合研究環・副環長, 評議員 (教育研究評議会) (平成 21 年 4 月～平成 23 年 3 月)

神戸大学自然科学系先端融合研究環・都市安全研究センター長 (平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月)

神戸大学自然科学系先端融合研究環 戦略的重点研究チーム「地震・豪雨等自然災害に対する防災・減災戦略」リーダー (平成 26 年 4 月～現在)

神戸大学情報基盤センター長，CIO 補佐，評議員（教育研究評議会）（平成 28 年 7 月～平成 30 年 6 月）
国立研究開発法人海洋研究開発機構，数理学・先端技術研究分野 上席招聘研究員，兼，海洋科学技術イノベーション推進本部アドバイザー（平成 27 年 10 月～現在）

学会並びに社会における活動

- 平成 3 年 12 月 土質工学会，「地盤の破壊とひずみの局所化に関する研究委員会」委員（平成 6 年 3 月まで）
- 平成 4 年 6 月 土質工学会，「平成 4 年度調査部特別委員会」委員（平成 5 年 3 月まで）
- 平成 4 年 7 月 土木学会，構造工学委員会運営小委員会委員（平成 7 年 3 月まで）
- 平成 4 年 7 月 土木学会，構造工学委員会「計算力学とその応用に関する研究小委員会」幹事（平成 8 年 3 月まで）
- 平成 5 年 6 月 土質工学会，調査部会部員（平成 7 年 5 日まで）
- 平成 5 年 6 月 土質工学会，論文報告集編集委員会委員（平成 9 年 5 月まで）
- 平成 6 年 4 月 ASCE（American Society of Civil Engineers）正会員
- 平成 6 年 6 月 土木学会，構造工学論文集小委員会計算力学部門査読委員
- 平成 6 年 9 月 地盤工学会，「地盤力学における局所化，分岐および進行性破壊に関するアジア TC 国内委員会」委員（平成 10 年 3 月まで）
- 平成 8 年 2 月 (財)鉄道総合技術研究所，「開削トンネル設計標準に関する委員会」委員（平成 12 年 3 月まで）
- 平成 9 年 5 月 地盤工学会，「斜面上の急勾配盛土工法検討委員会」委員（平成 11 年 3 月まで）
- 平成 9 年 6 月 土木学会，論文編集委員会第Ⅲ部門小委員会幹事（平成 10 年 6 月まで）
- 平成 9 年 6 月 地盤工学会，「地盤工学における物理数学の応用に関する研究委員会」副委員長（平成 12 年 3 月まで）
- 平成 9 年 11 月 (財)高速道路技術センター，「日本道路公団大阪管理局管内橋梁の構造及び環境改善に関する検討委員会」委員（平成 11 年 2 月まで）
- 平成 10 年 6 月 土木学会，論文編集委員会第Ⅲ部門小委員会論文調整幹事（平成 11 年 6 月まで）
- 平成 10 年 6 月 地盤工学会，Deformation of Earth Materials TC34 国内委員会委員（平成 14 年 3 月 31 日まで）
- 平成 10 年 9 月 土木学会，論文賞選考委員会幹事（平成 11 年 6 月まで）
- 平成 11 年 6 月 地盤工学会，「施工過程を考慮した地盤の変形・破壊予測に関する研究委員会」委員（平成 13 年 5 月まで）
- 平成 11 年 6 月 地盤工学会関西支部評議員（平成 13 年 5 月まで）
- 平成 11 年 9 月 (財)高速道路技術センター，「日本道路公団第 2 期大阪管理局管内橋梁の構造及び環境改善に関する検討委員会」委員（平成 12 年 3 月まで）
- 平成 12 年 3 月 (財)鉄道総合技術研究所，「鉄道構造物等設計標準(開削トンネル)制定に関する委員会」委員（平成 13 年 3 月まで）
- 平成 12 年 3 月 土木学会，地盤工学委員会「地盤に係わる維持・補修技術研究小委員会」委員（平成 13 年 3 月まで）

- 平成 12 年 4 月 国際地盤工学会, Technical Committee TC12 (Validation of Computer Simulations) 委員 (平成 14 年 3 月まで)
- 平成 12 年 5 月 地盤工学会, 「土と基礎」編集委員会委員 (平成 14 年 5 月まで)
- 平成 12 年 6 月 (財)港湾空港建設技術サービスセンター, 「国土交通省 (旧運輸省) 神戸港湾工事事務所神戸港岸壁早期建設技術検討委員会」委員長 (平成 13 年 3 月まで)
- 平成 12 年 6 月 (財)高速道路技術センター, 「日本道路公団関西支社管内橋梁の損傷に関する検討委員会 (環境分科会)」委員 (平成 13 年 3 月まで)
- 平成 12 年 6 月 地盤工学会関西支部, 「大阪湾埋立地盤の諸問題に関する研究準備委員会」委員長 (平成 13 年 3 月まで)
- 平成 12 年 7 月 国際地盤工学会: Technical Committee TC6 (Unsaturated Soils) 共催, 地盤工学会後援, The 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, Geotechnical and Geoenvironmental Issues (15-17 April 2003, Japan), 実行委員会幹事委員兼事務局長 (平成 16 年 3 月まで)
- 平成 12 年 8 月 (財)科学技術振興事業団・(社)日本工学アカデミー・米国工学アカデミー (National Academy of Engineering), 「第 1 回日米先端工学 (JAFoE: Japan-America Frontiers of Engineering) シンポジウム」日本側招待メンバー
- 平成 13 年 5 月 土木学会, 応用力学委員会「固体の破壊現象研究小委員会」幹事長 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 5 月 地盤工学会関西支部, 「土構造物の品質評価に関する研究委員会」委員長 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 5 月 土木学会, 「メンテナンス工学連合小委員会」地盤工学委員会派遣委員 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 5 月 土木学会, 学会誌編集委員会委員 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 5 月 地盤工学会, 「構成モデルの特性が数値解析に及ぼす影響に関する研究委員会」委員 (平成 16 年 3 月まで)
- 平成 13 年 6 月 土木学会, 構造工学論文集編集小委員会「計算力学部門」委員 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 6 月 (財)高速道路技術センター, 「日本道路公団関西支社管内橋梁の損傷に関する検討委員会 (環境分科会)」委員 (平成 14 年 3 月まで)
- 平成 13 年 7 月 地盤工学会, 技術者教育委員会委員 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 13 年 11 月 (財)高速道路技術センター, 「日本道路公団近畿自動車道 (敦賀線) 小浜～三方間軟弱地盤対策検討委員会」委員 (平成 15 年 3 月まで)
- 平成 13 年 11 月 国土交通省近畿地方整備局建設技術展 2001 「開発技術発表会」審査員
- 平成 13 年 12 月 a member of international organizing committee, 1st International Workshop on New Frontiers in Computational Geotechnics (13-15 September, 2002, Alberta, Canada), Univ. of Calgary
- 平成 14 年 5 月 地盤工学会, Earth Reinforcement TC9 国内委員会委員 (平成 17 年 5 月まで)
- 平成 14 年 5 月 地盤工学会, 論文報告集編集委員会委員 (平成 15 年 5 月まで)
- 平成 14 年 5 月 地盤工学会, Prediction Methods in Large Strain Geomechanics TC34 国内委員会委員 (平成 17 年 5 月まで)

- 平成 14 年 5 月 (財)先端建設技術センター, 上越三和道路軟弱地盤対策技術検討委員会委員 (平成 15 年 3 月まで)
- 平成 14 年 6 月 土木学会, 地震工学委員会「統合地震シミュレータ研究開発小委員会」委員 (平成 16 年 5 月まで)
- 平成 14 年 11 月 a member of Advisory Committee, International Workshop on X-Ray CT for Geomaterials (6-7 Nov. 2003), organized by Faculty of Engineering, Kumamoto University with the supports of ISSMGE/TC9, ISSMGE/TC34, ISSMGE/TC35 and The Society of Rock Engineering in West Japan
- 平成 14 年 11 月 国土交通省近畿地方整備局, 建設技術展 2002「開発技術発表会」審査員
- 平成 14 年 11 月 (財)高速道路技術センター, 「日本道路公団関西支社管内橋梁の損傷に関する検討委員会 (環境分科会)」委員 (平成 15 年 3 月まで)
- 平成 14 年 11 月 a member of International Advisory Committee, 2nd International Conference on Advances in Soft Soil Engineering and Technology (2-4 July, 2003 at Sibul, Sarawak, Malaysia), Universiti Putra Malaysia, Institution of Engineers Malaysia, Curtin University Sarawak, Kuittho, Public Works Department, Sarawak, and United College, Sarawak, sponsorship by Ministry of Finance and Public Utilities, Sarawak, Ministry of Infrastructure Development and Communications, Sarawak, MTD Capital Bhd and GeoEnTec Bhd, Ikram Geotechnic Malaysia, Asian Association for Agricultural Engineers, Columbia University (USA), and Ibaraki University (Japan)
- 平成 15 年 5 月 a member of Organizing Committee, International Symposium on Engineering Practice and Performance of Soft Deposits, IS-OSAKA 2004 (June 2-4, 2004), Sponsored and Co-sponsored by JGS, ISSMGE, ATC7, ATC10 and ATC12.
- 平成 15 年 6 月 土木学会, 構造工学論文集編集小委員会「計算力学部門」委員 (平成 17 年 5 月まで)
- 平成 15 年 6 月 地盤工学会, 論文編集委員会幹事委員 (平成 17 年 5 月まで)
- 平成 15 年 6 月 地盤工学会, 技術者教育委員会委員長 (平成 17 年 5 月まで)
- 平成 15 年 6 月 土木学会関西支部幹事 (総務担当) (平成 17 年 5 月まで)
- 平成 15 年 6 月 土木学会, 土木教育委員会「大学・大学院教育小委員会」委員 (平成 19 年 6 月まで)
- 平成 15 年 6 月 土木学会, 地盤工学委員会「土構造物の性能評価に関する研究小委員会」委員長 (平成 19 年 3 月まで)
- 平成 15 年 7 月 地盤工学会, 設計用地盤定数の決め方—土質編—編集委員会委員 (平成 19 年 3 月まで)
- 平成 15 年 8 月 土木学会, 教育企画・人材育成委員会委員・幹事 (平成 23 年 5 月まで)
- 平成 15 年 11 月 (財)沿岸開発技術研究センター, 「経済的地盤改良工法検討調査技術検討会」委員 (平成 16 年 3 月 31 日まで)
- 平成 16 年 4 月 神戸大学発ベンチャー企業: 東京ジオテック株式会社, 設立および取締役 (現在に至る)
- 平成 16 年 6 月 地盤工学会, 産官学連携推進委員会委員 (平成 19 年 5 月まで)

- 平成 16 年 6 月 土木学会，教育企画・人材育成委員会「生涯学習小委員会」委員（平成 18 年 5 月まで）
- 平成 16 年 7 月 (財)沿岸開発技術研究センター，「経済的地盤改良工法検討調査技術検討会」委員（平成 17 年 3 月 31 日まで）
- 平成 16 年 7 月 国土交通省近畿地方整備局，建設技術展 2004 審査員
- 平成 17 年 3 月 国土交通省北陸地方整備局「上越三和道路軟弱地盤検討委員会」委員，（平成 17 年 3 月 31 日）
- 平成 17 年 6 月 地盤工学会，技術者教育委員会委員（平成 19 年 5 月まで）
- 平成 17 年 6 月 地盤工学会，中長期ビジョン WG 活動領域 B（学術技術の進歩への貢献戦略）委員（平成 18 年 3 月まで）
- 平成 17 年 6 月 国際地盤工学会，Technical Committee TC6（TC106）（Unsaturated soils）Core member（現在に至る）
- 平成 17 年 6 月 アダムウォール協会「アダムウォール（補強土壁）工法設計・施工マニュアル作成委員会」委員，平成 20 年 6 月アダムウォール（補強土壁）工法設計・施工マニュアル刊行（平成 20 年 6 月まで）
- 平成 17 年 7 月 国土交通省近畿地方整備局，建設技術展 2005 審査員
- 平成 18 年 6 月 地盤工学会，理事（事業部講習会担当）（平成 19 年 5 月まで）
- 平成 18 年 6 月 地盤工学会，技術普及委員会委員長（平成 19 年 5 月まで）
- 平成 18 年 6 月 土木学会，論文集編集委員会 C 部門（地盤工学）小委員会委員長（平成 20 年 5 月まで）
- 平成 18 年 7 月 国土交通省近畿地方整備局，兵庫ブロック総合評価委員会委員・副委員長（平成 26 年 3 月 31 日まで）委員長（平成 26 年 4 月 1 日～現在に至る）
- 平成 18 年 7 月 国土交通省近畿地方整備局，建設技術展 2006 審査委員長
- 平成 18 年 7 月 地盤工学会，表彰委員会委員（平成 19 年 5 月まで）
- 平成 18 年 10 月 A member of International Advisory Committee, The 3rd International Workshop on New Frontier in Computational Geotechnics, IWS-Xian 2006, 19 to 20 Oct.
- 平成 19 年 6 月 地盤工学会，表彰委員会・副委員長（平成 19 年 10 月まで）
- 平成 18 年 11 月 地盤工学会，Prediction and simulation methods in geomechanics 国内委員会委員（平成 22 年 3 月まで）
- 平成 18 年 12 月 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室，防災科学技術研究所「国際的な防災科学技術情報基盤形成に関する懇談会」委員（平成 21 年 3 月まで）
- 平成 19 年 4 月 独立行政法人科学技術振興機構，シーズ発掘試験査読評価委員（平成 22 年 5 月まで）
- 平成 19 年 4 月 京都大学防災研究所「自然災害研究協議会」委員（平成 23 年 3 月まで）
- 平成 19 年 6 月 地盤工学会，理事（事業部長）（平成 20 年 5 月 31 日まで）
- 平成 19 年 6 月 国土交通省近畿地方整備局，総合評価委員会専門部会委員（現在に至る）
- 平成 19 年 6 月 土木学会，総務部門・論文賞選考委員会委員・C 部門（地盤工学部門）副主査（平成 20 年 6 月まで）
- 平成 19 年 8 月 土木学会，地盤工学委員会副委員長（平成 21 年 5 月まで）
- 平成 19 年 8 月 国土交通省近畿地方整備局，建設技術展 2007 近畿橋梁模型コンテスト審査委員長

- 平成 19 年 8 月 土木学会、教育企画・人材育成委員会「大学・大学院教育小委員会」委員長（平成 21 年 5 月まで）
- 平成 19 年 9 月 日本学術会議 機械工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 IUTAM 分科会・第 57 回理論応用力学講演会運営委員会委員, 実行委員会委員, 英文論文集編集主査(地盤工学会派遣)（平成 21 年 3 月まで）
- 平成 19 年 12 月 兵庫県但馬県民局「豊岡盆地地盤沈下対策技術検討委員会」委員（平成 21 年 3 月 31 日まで）
- 平成 19 年 12 月 a member of International Advisory Committee, 4th Asia-Pacific Conference on Unsaturated Soils, Organized by the Centre for Geotechnical and Materials Modeling, University of Newcastle, Australia
- 平成 20 年 3 月 (財) 沿岸技術研究センター, 関西国際空港(2 期地区)地盤に関する調査検討委員会委員（平成 21 年 3 月まで）
- 平成 20 年 4 月 京都大学防災研究所共同利用委員会委員（平成 23 年 3 月まで）
- 平成 20 年 5 月 地盤工学会, IS-Kyoto2009 実行委員会委員（平成 22 年 3 月まで）
- 平成 20 年 5 月 (財) 原子力環境整備促進・資金管理センター・処分技術調査研究プロジェクト, 人工バリア長期挙動検討委員会委員（平成 20 年 11 月まで）
- 平成 20 年 5 月 土木学会 教育企画・人材育成委員会, 教育論文集編集小委員会委員（平成 21 年 5 月まで）
- 平成 20 年 5 月 土木学会 論文集編集委員会「論文集英文化小委員会」委員長（平成 25 年 5 月まで）
- 平成 20 年 6 月 土木学会, 総務部門・論文賞選考委員会委員・C 部門（地盤工学部門）主査（平成 21 年 6 月まで）
- 平成 20 年 7 月 a member of International Advisory committee, 5th International Conference on Unsaturated Soils, 6 to 8 of September, 2010, Barcelona, Spain
- 平成 20 年 9 月 a member of International Advisory committee, 3rd International Conference on PROBLEMATIC SOILS, 07-09 April 2010, Adelaide, Australia, Organised with the support of the Australian Geomechanics Society (South Australian Chapter) and the University of South Australia Commission 18, Collapsible Soils, International Association of Engineering Geologists
- 平成 20 年 12 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2008, 12 月 3 日, 4 日, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 20 年 12 月 (財) 原子力環境整備促進・資金管理センター・処分システム工学要素技術高度化開発のうち人工バリア品質評価技術の開発, 緩衝材品質評価技術検討委員会人工バリア長期挙動検討委員会委員（現在に至る）
- 平成 21 年 5 月 土木学会技術推進機構 1 級技術者資格小委員会「地盤・基礎分野」主査（平成 23 年 5 月まで）
- 平成 21 年 6 月 土木学会, 地盤工学委員会委員長（平成 23 年 5 月まで）
- 平成 21 年 6 月 土木学会 教育企画・人材育成委員会, 教育論文集編集小委員会委員長（平成 22 年 5 月まで）
- 平成 21 年 9 月 社団法人全日本建設技術協会, 平成 21 年度公共工事品質確保技術者資格試験委員

- 平成 21 年 9 月 a member of International Advisory committee, 5th Asia-Pacific Conference on Unsaturated Soils, 14-16 November 2011, Pattaya, Thailand, Organised by Geotechnical Engineering Research and Development Center (GERD), Department of Civil Engineering, Kasetsart University, Thai Geotechnical Society and Engineering Institute of Thailand
- 平成 21 年 12 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2009, 12 月 2 日, 3 日, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 22 年 6 月 土木学会 論文集編集委員会 H 部門教育論文集編集小委員会委員長 (平成 23 年 5 月まで)
- 平成 22 年 6 月 (独)防災科学研究所兵庫耐震工学研究センター, 数値振動台研究開発分科会・地盤 WG 主査 (現在に至る)
- 平成 22 年 6 月 (独) 科学技術振興機構 地域イノベーション創出総合支援事業査読評価委員 (平成 25 年 3 月 31 日)
- 平成 22 年 6 月 (財) 沿岸技術研究センター, 関西国際空港(2 期地区)地盤に関する調査検討委員会委員 (現在に至る)
- 平成 22 年 7 月 (財) 原子力環境整備促進・資金管理センター, 地下空洞型処分施設性能確認試験検討委員会委員 (現在に至る)
- 平成 22 年 12 月 国土交通省近畿地方整備局, 堤防研究会設計部門ワーキング・学術担当委員 (平成 23 年 3 月 31 日まで)
- 平成 22 年 12 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2010, 12 月 1 日, 2 日, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 23 年 6 月 土木学会・教育企画部門・教育企画人材育成委員会委員 (平成 26 年 5 月まで)
- 平成 23 年 8 月 Committee Member of UNSAT2014 : Unsaturated Soils: Research & Applications Sydney Australia 2-4 July 2014, ~2014.7
- 平成 23 年 8 月 (独) 日本原子力研究開発機構・地層処分研究開発部門, セメント材料影響評価技術高度化開発委員会委員 (平成 27 年 3 月 31 日)
- 平成 23 年 10 月 (公社) 地盤工学会, 東日本大震災対応調査研究委員会【地盤環境研究委員会】委員 (現在に至る)
- 平成 23 年 10 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2011, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 24 年 7 月 東北大学災害科学国際研究所, 東北大学災害科学国際研究所特定プロジェクト研究外部審査委員 (平成 26 年 3 月 31 日まで)
- 平成 24 年 8 月 (独) 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査員 (平成 26 年 7 月 31 日まで)
- 平成 24 年 9 月 土木学会 総務部門論文賞選考委員会選定委員 (平成 24 年 6 月 14 日～平成 26 年 6 月 14 日まで)
- 平成 24 年 10 月 土木学会 地盤工学委員会・性能設計下での現場観測施工(Observational Method)に関する研究小委員会, 幹事長 (平成 27 年 6 月まで)
- 平成 24 年 10 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2012, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長

- 平成 25 年 4 月 阪神高速道路株式会社 構造技術委員会 基礎・地下構造分科会 委員
- 平成 25 年 5 月 土木学会論文編集委員会英文論文集編集小委員会委員（現在に至る）
- 平成 25 年 10 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2013, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 26 年 4 月 国土交通省近畿地方整備局総合評価委員会委員（現在に至る）
- 平成 26 年 4 月 国土交通省近畿地方整備局港湾空港部門総合評価委員会委員（現在に至る）
- 平成 26 年 4 月 国土交通省近畿地方整備局災害時建設事業継続力認定委員会委員（現在に至る）
- 平成 26 年 5 月 東京大学地震研究所・外部評価委員（平成 27 年 3 月 31 日まで）
- 平成 26 年 10 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2014, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 26 年 12 月 国土交通省社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会委員（現在に至る）
- 平成 26 年 12 月 国土交通省社会資本整備審議会専門委員（現在に至る）
- 平成 27 年 4 月 国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課「インフラシステム海外展開の持続的な戦略に向けて」懇話会座長（平成 28 年 3 月 31 日まで）
- 平成 27 年 6 月 土木学会 地盤工学委員会・性能設計下での現場観測施工(Observational Method)に関する研究小委員会, 委員長
- 平成 27 年 10 月 International Advisory Committee, Unsaturated Soils:Research & Applications (AP-UNSAT2015), China, GuiLin 23-26 Oct 2015
- 平成 27 年 10 月 日刊工業新聞, (社)近畿建設協会, 建設技術展近畿 2015, マイドーム大阪, 注目技術審査員, 橋梁コンテスト審査委員会委員長
- 平成 27 年 10 月 EU:HORIZON2020 プロジェクト Grant agreement No.662147-Cebam (主契約者:(財)原子力環境整備促進・資金管理センター), WP3 "Integration and Modeling", プロジェクト名:Cement-based materials, properties, evolution and barrier functions, Subcontractor member（現在に至る）

注:土質工学会は平成6年に地盤工学会に名称変更.

賞罰

- 平成2年5月 平成元年度土質工学会賞(奨励賞), General theory of shear bands formation by a non-coaxial Cam-clay model
- 平成 18 年 10 月 平成 17 年度神戸大学工学部優秀教育賞, 平成 17 年度後期学部講義科目「連続体力学」に対して
- 平成 19 年 5 月 平成 18 年度地盤工学会事業企画賞「第 40, 41 回地盤工学研究発表会, 技術者交流特別セッション」企画・運営に対して
- 平成 20 年 1 月 土木学会関西支部支部活動功労賞 (土木学会関西支部創立 80 周年記念)
- 平成 20 年 5 月 平成 19 年度地盤工学会 功労章
- 平成 20 年 5 月 平成 19 年度地盤工学会技術開発賞, 「土/水連成弾(粘)塑性有限要素・飽和地盤静的解析パッケージ DACSAR の開発と実用化」
- 平成 26 年 8 月 平成 25 年度日本学術振興会特別研究員等審査会専門委員 (書面担当) 表彰

特許

工業所有権の名称：盛土法面補強構造体およびその構築方法

出願：H10.08.06、特願平 10-222694、登録：H12.07.14、特許第 3088702

学位論文

- 1) 飯塚敦：軟弱地盤の変形・安定解析に関する基礎的研究，学位記番号 1046，登録番号 10775（新制工 744），京都大学，1988.9.24

著書

- 2) 岡二三生，飯塚敦，他：地盤の破壊とひずみの局所化，土質工学会，ISBN:4886440487，1994.10
 - 3) 増田陳紀，飯塚敦，他：構造工学シリーズ7 構造工学における計算力学の基礎と応用，土木学会，ISBN:4810601730，1996.12
 - 4) 柴田徹，飯塚敦，他：地盤力学，ニューパラダイム テキストブック，山海堂，ISBN:4381012747，2000.3，東京電機大学出版局，ISBN:978-4-501-62320-3，2008.4
 - 5) 太田秀樹，飯塚敦，他：地盤工学理論シリーズ，地盤の変形解析，地盤工学会，ISBN:4886449506，2002.8
 - 6) Karube,D., Iizuka,A., Kato,S., Kawai,K. and Tateyama,K. edited. Unsaturated Soils –Geotechnical and Geoenvironmental Issues-, Proceedings of the 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils –UNSAT-ASIA 2003-, Osaka, Japan, Published by The Organizing Committee of UNSAT-ASIA 2003 and The Technical Committee 6 of The International Society of Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, 2003.4
 - 7) 鶴飼恵三，飯塚敦，他：地盤技術者のための FEM シリーズ 2 弾塑性有限要素法がわかる，地盤工学会，ISBN4-88644-067-3，2003.9
 - 8) 三島信雄，飯塚敦，他：設計用地盤定数の決め方ー土質編ー，第3章 3.2.1 (p.82)，第3章 3.3.6 (pp.128-137)，地盤工学会，ISBN978-4-88644-079-2，2007.12
 - 9) Ohta,H., Iizuka,A. and Ohno,S.: Chapter 13 Soil Mechanics "Constitutive Modelling for Soft Cohesive Soils", Geotechnics and Earthquake Geotechnics towards Global Sustainability, ed. by Susumu Iai, Geotechnical, Geological and Earthquake Engineering Vol 15, ISBN978-94-007-0469-5, Springer Dordrecht Heidelberg London New York, pp.231-250, 2011
 - 10) Chu, Jian, Wardani, Sri P.R., Iizuka, Atsushi (Eds.), Geotechnical Predictions and Practice in Dealing with Geohazards, Geotechnical, Geological and Earthquake Engineering Series, Vol. 25, 394p., ISBN 978-94-007-5674-8, Springer, 2013.7,
- 内，

Iizuka,A: 40 Years Contributions to Geotechnical Engineering of Prof. Hideki Ohta, Prologue.

Ohta,H., Iai,S., Nishida,Y., Morioka,S. and Iizuka,A.: Tsunami Induced by 2011 Tohoku-Pacific Ocean Earthquake and a Possible Renewal Plan, Chapter 1.

Hirata,H., Iizuka,A., Ohta,H. Yamakami,T., Yokota,Y. and Ohmori,K.: Numerical Simulation of Soil Structures Reinforced by Geosynthetics, Chapter 7.

Sugie,A., Ohta,H. and Iizuka,A.: Three Dimensional Soil/Water Coupled Analysis of Reverse Concreting Excavation Work, Chapter 10.

- Hirata,M., Iizuka,A. and Ohta,H.: Spatial Discretization of a Water Head in Soil-Water Coupled Finite Element Method Analysis Using the Hybrid-Type Penalty Method, Chapter 11.
- Ohno,S., Kawai,K., Iizuka,A., Tachibana,S., Kanazawa,S. and Ohta,H.: Elasto-Plastic Constitutive Model for Unsaturated Soils with Subloading Surface Concept, Chapter 14.
- Takeyama,T., Pipatpongsa,T., Iizuka,A. and Ohta,H.: Stress-Strain Relationship for the Singular Point on the Yielding Surface of the Elasto-Plastic Constitutive Model and Quantification of Metastability, Chapter 15.
- Nakayama,E., Kobayashi,I, Iizuka,A. and Ohta,H.: Development of a Portable Triaxial Testing Apparatus-Smart Triaxial, Chapter 22.
- 11) 国土強靱化総合研究所編, 国土強靱化, 日本を強くしなやかに (その3), 分担執筆 (飯塚敦) : 15. 防災・減災における国土強靱化について, 一超広域・複合災害に備える一, 国土強靱化総合研究所発行, 相模書房, pp.343-366, ISBN978-4-7824-1305-0, 2013.11
- 12) Kobayashi,I., Owada,H., Ishii,T., and Iizuka,A., Chapter 208. A method of measuring the specific surface area of bentonite for evaluation of the hydraulic performance of bentonite engineered barriers, Geomechanics from Micro to Macro, Edited by Kenichi Soga, Krishna Kumar, Giovanna Biscontin, and Matthew Kuo, CRC Press 2014, pp.1285-1290, Print ISBN: 978-1-138-02707-7, eBook ISBN: 978-1-315-73732-4, DOI: 10.1201/b17395-232

原著論文

a) 定期刊行学会誌・論文集

- 13) 飯塚敦, 良峰透, 太田秀樹, 畠昭治郎 : 極限支持力と地盤内応力変化の有限要素解析, 土木学会論文集, 土木学会, No.382/III-7, pp.255-263, 1987.6
- 14) Iizuka,A. and Ohta,H. : A determination procedure of input parameters in elasto-viscoplastic finite element analysis, Soils and Foundations, JSSMFE, Vol.27, No.3, pp.71-87, 1987.9, DOI: 10.3208/sandf1972.27.3_71
- 15) 庄司幹雄, 松本喬, 太田秀樹, 飯塚敦 : 仮想粘性法による弾塑性変形・浸透流連成解析, 土木学会論文集, 土木学会, No.388/III-8, pp.121-130, 1987.12
- 16) 柏木淳男, 熊谷俊雄, 菅井正澄, 飯塚敦 : 種々の掘削工法を検討できる山留め計算法, 土と基礎, 土質工学会, Vol.37, No.5, pp.47-52, 1989.5
- 17) Yatomi,C., Yashima,A., Iizuka,A. and Sano,I. : General theory of shear bands formation by a non-coaxial Cam-clay model, Soils and Foundations, JSSMFE, Vol.29, No.3, pp.41-53, 1989.9
- 18) Yatomi,C., Yashima,A., Iizuka,A. and Sano,I. : Shear bands formation numerically simulated by a non-coaxial Cam-clay model, Soils and Foundations, JSSMFE, Vol.29, No.4, pp.1-13, 1989.12
- 19) Iizuka,A., Yatomi,C., Yashima,A., Sano,I. and Ohta,H. : The effect of stress induced anisotropy on shear band formation, Archive of Applied Mechanics, Springer, Vol.62, pp.104-114, 1992.3
- 20) 太田秀樹, 西原晃, 飯塚敦, 杉江茂彦 : 自然堆積粘土に対するベーンせん断試験結果の解釈, 土木学会論文集, 土木学会, No.481/III-25, pp.145-154, 1993.12.
- 対して,
太田秀樹, 西原晃, 飯塚敦, 杉江茂彦 : ”自然堆積粘土に対するベーンせん断試験結果の解釈”に対する討議回答, 土木学会論文集, 土木学会, No.517/III-31, pp.209-215, 1995.6

- 21) 杉江茂彦, 飯塚敦, 太田秀樹: 粘土地盤におけるベーンせん断強度の発現メカニズム, 土木学会論文集, 土木学会, No.487/III-26, pp.227-236, 1994.3
- 22) 飯塚敦: 沈下予測解析における基準と初期条件の重要性, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.45, No.2, pp.11-14, 1997.2
- 23) 小林一三, 飯塚敦, 太田秀樹: 土/水連成有限要素解析に基づいた限界盛土高さ推定法, 土木学会論文集, 土木学会, No.575/III-40, pp.207-217, 1997.9
- 24) 森川嘉之, 古田康裕, 飯塚敦, 太田秀樹: 粘性土の等体積一面せん断強さ, 土木学会論文集, 土木学会, No.582/III-41, pp.173-182, 1997.12
- 25) 小林一三, 飯塚敦, 太田秀樹: 正規粘土供試体せん断時における局所変形の遷移, 土木学会論文集, 土木学会, No.617/III-46, pp.1-18, 1999.3
- 26) 飯塚敦, 小林一三, 太田秀樹: 粘土供試体の圧縮せん断破壊—観察とシミュレーション—, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.47, No.5, pp.21-24, 1999.5
- 27) 平田昌史, 飯塚敦, 太田秀樹, 山上尚幸, 横田善弘, 大森晃治: ダイレタンシーを考慮したジオシンセティックス補強盛土有限要素解析, 土木学会論文集, 土木学会, No.631/III-48, pp.179-192, 1999.9
- 28) 杉江茂彦, 上野孝之, 太田秀樹, 飯塚敦, 秋野矩之, 崎本純治: 土留め掘削周辺地盤の挙動と三次元解析事例, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.47-9, No.498, pp.13-16, 1999.7
- 29) 川井田実, 森川慶行, 堀越研一, 飯塚敦, 太田秀樹: 道路盛土の除去および EPS 置換に伴う軟弱地盤の挙動解析, 土木学会論文集, 土木学会, No.645/III-50, pp.209-221, 2000.3
- 30) 小島謙一, 太田秀樹, 館山勝, 飯塚敦: 掘削工事における周辺地盤の変形予測手法の検討, 土木学会論文集, 土木学会, No.652/III-51, pp.217-228, 2000.6
- 31) 本田道識, 飯塚敦, 河井克之, 軽部大蔵: 不飽和土の応力—ひずみ関係式, 土木学会論文集, 土木学会, No.659/III-52, pp.153-164, 2000.9
- 32) 飯塚敦, 本田道識, 西田博文, 河井克之, 軽部大蔵: 間隙水分布の違いを考慮した不飽和土/水連成解析, 土木学会論文集, 土木学会, No.659/III-52, pp.165-178, 2000.9
- 33) 飯塚敦, 平田昌史, 太田秀樹: ジオシンセティックスによるダイレタンシー拘束効果, 土木学会論文集, 土木学会, No.680/III-55, pp.15-28, 2001.6
- 34) Pipatpongsa,T., Iizuka,A., Kobayashi,I., Ohta,H. and Suzuki,Y. : Nonlinear analysis for stress-strain-strength of clays using return-mapping algorithms, Journal of Applied Mechanics, JSCE, Vol.4, pp.295-306, 2001.10
- 35) 森川嘉之, 飯塚敦, 太田秀樹: 体積変化を考慮したせん断帯生成理論, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.4, pp.367-374, 2001.10
- 36) 小林一三, 曾我健一, 飯塚敦, 太田秀樹, Dalton,C. : セルフボーリングプレッシャーメータから得られる強度に間隙水の移動が及ぼす影響, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.4, pp.285-294, 2001.10
- 37) Saito,T., Iizuka,A., Kitamura,A. and Ohta,H. : Geological approach to the void ratio distribution for aged clays based on Bjerrum's hypothesis, Journal of Geotechnical Engineering, SEAGS, Vol.32, No.3,pp.153-164, 2001.12
- 38) 小島謙一, 飯塚敦, 太田秀樹, 館山勝: 掘削時における現場計測データを用いた周辺地盤の沈下管理手法, 土木学会論文集, 土木学会, No.694/III-57, pp.67-79, 2001.12, DOI: 10.2208/jscej.2001.694_67
- 39) Pipapongsa,T., Iizuka,A., Kobayashi,I. and Ohta,H. : FEM formulation for analysis of soil constitutive model with a corner on the yield surface, Journal of Structural Engineering, JSCE, Vol.48A, No.1, pp.185-194, 2002.4

- 40) 小島謙一, 太田秀樹, 館山勝, 飯塚敦: 開削トンネル設計時における周辺地盤の簡易沈下予測, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.50, No.7 (Ser.No.534), pp.28-30, 2002.7
- 41) 飯塚敦, 村上章, 宮田喜壽, 中角功: 地盤沈下の予測理論と実際 - 施工に伴う荷重や変位の履歴による地盤応答 -, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.50, No.8 (Ser.No.535), pp.6-8, 2002.8
- 42) 飯塚敦, 西田博文, 河井克之, 井内崇也: 施工履歴の違いを考慮した人工島の品質評価に対する検討, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.5, pp.767-776, 2002.9.
- 43) 飯塚敦, 大野進太郎, 河井克之, 建山和由: 下負荷面弾塑性構成モデルを用いた土/水連成弾塑性動的有限要素解析手法の開発, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.5, pp.601-610, 2002.9. DOI:<http://doi.org/10.2208/journalam.5.601>
- 44) 河井克之, 汪偉川, 飯塚敦: 水分特性曲線ヒステリシスの表現と不飽和土の応力変化, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.5, pp.777-784, 2002.9.
- 45) 河井克之, 金銀羅, 流田寛之, 飯塚敦, 本田道識: 不飽和土の力学を用いた締固め土における圧密降伏応力の簡易予測手法, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.5, pp.785-792, 2002.9. DOI:<http://doi.org/10.2208/journalam.5.785>
- 46) Kobayashi,I., Soga,K., Iizuka,A. and Ohta,H.: Numerical interpretation of a shape of yield surface obtained from stress probe tests, Soils and Foundations, JGS, Vol.43, No.3, pp.95-104, 2003..6.
- 47) 西田博文, 飯塚敦, 河井克之, 伊藤文雄: 施工履歴の違いを考慮した CAES 地下空洞掘削シミュレーション, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.6, pp.1131-1139, 2003.9.
- 48) Iizuka,A., Yamamoto,N., Sueoka,M., Satou,N., Kawaida,M. and Ohta,H.: Deformation analysis of soft subsoil on sloping bedrock loaded by highway embankment with stabilization methods, Soils and Foundations, JGS, Vol.43, No.5, pp.81-92, 2003.10.
- 49) Iizuka,A., Kawai,K., Kim,E.R. and Hirata,M.: Modeling of the confining effect due to the geosynthetic wrapping of compacted soil specimens, Journal of Geotextiles and Geomembranes, Elsevier, Vol.22, No.5, pp.329-358, 2004.10
- 50) 石井武司・村上章・飯塚敦: 土構造物の維持補修への構成式の応用, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.52, No.8(Ser.No.559), pp.25-27, 2004.8
- 51) 河井克之, 汪偉川, 飯塚敦: 既存の不飽和土構成モデルの解釈および水分特性曲線ヒステリシスを考慮したモデルの一般的な表現方法, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.7, No.1, pp.505-513, 2004.9
- 52) Iizuka,A., Tachibana,S., Kawai,K. and Ohta,H. : Changes in the instantaneous shear modulus of normally consolidated clay with shear history, Vol.45, No.2, pp.135-144, Soils and Foundations, JGS, 2005.4
- 53) 平井卓, 重野喜政, 飯塚敦: 膨潤性を有する緩衝材の弾塑性構成モデル化, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.8, pp.395-402 2005.9
- 54) 本田道識, 飯塚敦, 大野進太郎, 河井克之, 汪偉川: 締固め土の圧縮特性に関する評価手法の検討, 土木学会論文集, 土木学会, No.806/III-73, pp.33-44, 2005.12
- 55) 藤川和彦, 飯塚敦, 河井克之, ピパットボンサー・ティラポン: 物質移動を考慮した不飽和土/水連成問題の数理モデルと有限要素解析手法, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.9, pp.377-384, 2006.9
- 56) 大野進太郎, 飯塚敦, 太田秀樹: 非線形コントラクタンシー表現を用いた土の弾塑性構成モデル, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.9, pp.407-414, 2006.9
- 57) 平井卓, 重野喜政, 高治一彦, 飯塚敦: 膨張性土質材料の弾塑性構成則に関する研究, 応用力学論文

- 集, 土木学会, Vol.9, pp.471-478, 2006.9,
Selected paper に選ばれ, 英文化して,
Hirai,T., Shigeno,Y., Takaji,K. and Iizuka,A., Constitutive Modelling of Elastoplastic Behavior for Swelling Buffer Materials, Journal of Structural Engineering /Earthquake Engineering, JSCE, Vol.24, pp.102-111, 2007
に採択
- 58) Tachibana,S., Iizuka,A., Kawai,K., Kobayashi,I., Pipatpongsa,T. and Ohta,H., Numerical investigation on the failure of normally consolidated clays, International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics, (DOI: 10.1002/nag.562, published online: 23 Oct 2006) , Wiley, Vol.31, pp.809-833, 2007
- 59) 長谷川憲孝, 柳浦良行, 高橋嘉樹, 和田昌大, 飯塚敦: 神戸空港護岸築造工事における沖積粘性土層の挙動とその考察, 地盤工学ジャーナル, 地盤工学会, Vol.2, No.1 (2007年3月号), pp.25-35, 2007.3
- 60) Kawai,K., Iizuka,A., Hayakawa,E. and Wang,W., Non-uniform settlement problem of compacted soil caused by the deformation characteristics of unsaturated soil on wetting, Soils and Foundations, JGS, Vol.47, No.2, pp.195-206, 2007.4, DOI: 10.3208/sandf.47.195
- 61) 石垣勉, 尾本志展, 竹山智英, Thirapong PIPATPONGSA, 飯塚敦, 太田秀樹: 土/水連成解析を用いた道路アセットマネジメント支援の試み, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.10, pp.971-982, 2007.9
- 62) 河井克之, 飯塚敦, 霜永勝之, 橋伸也: 植生の吸水作用が地盤に及ぼす影響, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.10, pp.375-382, 2007.9
- 63) 河井克之, 山田竜太郎, 飯塚敦, 橋伸也, 大野進太郎: 植生の吸水作用が地盤の安定性に及ぼす影響, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.11, pp.443-450, 2008.9
- 64) 金澤伸一, 橋伸也, 河井克之, 大野進太郎, 飯塚敦: 不飽和土/水連成有限要素解析における空間離散化手法の検討, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.11, pp.331-338, 2008.9
- 65) 河井克之, 野村瞬, 大野進太郎, Thirapong Pipatpongsa, 橋伸也, 金澤伸一, 飯塚敦: 耐塩害性地盤構造及び塩害地盤浄化手法の検討, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.12, pp.421-428, 2009.9
- 66) 河井克之, 柴田昌輝, 金澤伸一, 橋伸也, 大野進太郎, 飯塚敦, 本田道識: 土/水連成有限要素プログラムを用いた静的締固めシミュレーション, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.12, pp.429-436, 2009.9
- 67) 平田昌史, 藤山哲雄, 竹山智英, 飯塚敦, 太田秀樹: HPM を用いた土/水連成有限要素解析における水頭の空間離散化, 応用力学論文集, 土木学会, Vol.12, pp.187-194, 2009.9
- 68) Pipatpongsa,T., Heng,S., Iizuka,A. and Ohta,H.: Rationale for coefficient of earth pressure at rest derived from prismatic sand heap, Journal of Applied Mechanics JSCE, Vol.12, pp.383-394, 2009.
- 69) Pipatpongsa,T., Takeyama,T., Ohta,H. and Iizuka,A.: On the vertex singularity of the Sekiguchi-Ohta model, Theoretical and Applied Mechanics Japan, Science Council of Japan, Vol.57, pp.89-94, 2009.
- 70) 堀宗朗, 木村定雄, 飯塚敦, 大塚悟, 熊谷健一, 齋藤利晃, 田村武, 橋本親典, 平出純一, 山口栄輝: さまざまな工学部学科・専攻で行われた教育改革の実例, 土木学会論文集 H(教育), Vol. 1, pp.135-143, 2009, <http://doi.org/10.2208/jscejep.1.135>
- 71) 平田 昌史, 木藤 政則, 山田 耕一, 飯塚 敦, 荒井 克彦: 超軟弱地盤における道路盛土の変形挙動要因とその抑制対策, 土木学会論文集 C, Vol. 66, No. 2, pp.356-369, 2010.6
- 72) 山本 卓生, 坂上 敏彦, 高橋 嘉樹, 柳浦 良行, 南部 光広, 飯塚 敦: 神戸空港における地盤変形解析手法の構築, 土木学会論文集 C, Vol.66, No.3, pp.457-471, 2010.7
- 73) 柴田昌輝, 河井克之, 尾崎早希子, 金澤伸一, 橋伸也, 飯塚敦: 締固め方法の違いが締固め土構造物の

- 品質に及ぼす影響, 応用力学論文集, Vol.13, pp.363-370, 2010.9
- 74) 田中麻穂, 河井克之, 金澤伸一, 橘伸也, 大野進太郎, 飯塚 敦, 竹山智英: 築堤シミュレーションにおける設定条件が盛土内応力分布に及ぼす影響, 応用力学論文集, Vol.13, pp.423-430, 2010.9
- 75) Pipatpongsa,T., Ohta,H. and Iizuka,A.: Analyses of pressure distribution using arching criteria in 2D sand heaps, Theoretical and Applied Mechanics Japan, Science Council of Japan, Vol.58, pp.41-48, 2010
- 76) Pipatpongsa,T., Heng,S., Iizuka,A. and Ohta,H.: Statics of loose triangular embankment under Nadai's sand hill analogy, Journal of the Mechanics and Physics of Solids, Vol.58, pp. 1506-1523, 2010.
- 77) Honda,M., Ohno,S., Iizuka,A., Kawai,K. and Ohta,H.: Theoretical evaluation of the mechanical behavior of unsaturated soils, International Journal of Geotechnical and Geological Engineering, Springer, Vol.29, No.2, pp.171-180, 2011.3 DOI:10.1007/s10706-010-9340-6
- 78) 野村瞬, 河井克之, 角井駿祐, 橘伸也, 金澤伸一, 飯塚敦: 飽和/不飽和地盤内における水溶性物質移動モデルの構築, 土木学会論文集 A2 (応用力学論文集), Vol.14,pp.231-240,2011.9 DOI: 10.2208/jscejam.67.I_231
- 79) 金澤伸一, 豊嶋拓馬, 河井克之, 橘伸也, 飯塚敦: 土/水/空気連成有限要素法を用いた締固め土の力学挙動の解析, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.68, No.2, I_291-I_298, 2012. DOI:10.2208/jscejam.68.I_291
- 80) 河井克之, 坂本諭, Phommachanh,V., 飯塚敦: 土/水/空気連成有限要素解析による締固め特性に及ぼす土質定数の影響の検討, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.68, No.2, I_299-I_306, 2012. DOI: 10.2208/jscejam.68.I_299
- 81) Phommachanh,V., 前川 太, 河井克之, 飯塚 敦: 自硬性を考慮した石炭灰のモデル化及び埋立て模型地盤の解析シミュレーション, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.68, No.2, I_307-I_315, 2012. DOI: 10.2208/jscejam.68.I_307
- 82) 河井克之, 杉山友理, 野村 瞬, 飯塚 敦: 地盤内塩分移動シミュレーションによる陸前高田一本松の生育環境評価, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.68, No.2, I_345-I_352, 2012. DOI:10.2208/jscejam.68.I_345
- 83) Takayama,Y., Tsurumi,S., Iizuka,A, Kawai,K. and Ohno,S.: An Interpretation of Mechanical Properties of Bentonite as a Non-linear Elastic Material, Int. J. of GEOMATE, Vol. 3, No. 2 (SI. No. 6), pp. 357-362, 2012, Geotec., Const. Mat. & Env., ISSN:2186-2982(P), 2186-2990(O), Japan
(Takayama, Y., Tsurumi,S., Iizuka,A. and Kawai,K.: An interpretation of mechanical properties of bentonite as a non-linear elastic material, Proc. of 2nd Int. Conf. GEOMATE 2012, pp.666-671, 2012 の selected paper)
- 84) Ishii,T., Yahagi,R., Owada,H., Kobayashi,I., Takazawa,M., Yamaguchi,K., Takayama,Y., Tsurumi,S. and Iizuka,A.: Coupled chemical-hydraulic-mechanical modelling of long-term alternation of bentonite, Clay Minerals - Journal of Fine Particle Science, Vol.48, pp.331-341, 2013, Clay Minerals (Impact Factor: 0.76). 05/2013; 48(2). DOI: 10.1180/claymin.2013.048.2.13
(Ishii,T., Yahagi,R., Ohwada,H., Kobayashi,I., Takazawa,M., Yamaguchi,K., Takayama,Y., Tsurumi,S., and Iizuka,A.: Evaluation of long-term interaction between cement and bentonite for geological disposal, (4) Chemical alteration analysis of bentonite in consideration of hydraulic/mechanical properties, Proc. 5th Clays in Natural and Engineered Barriers for Radioactive Waste Confinement, Montpellier, France, 2012.10 の selected paper)

- 85) 平田昌史、飯塚敦、太田秀樹：二次圧密による先行効果を考慮した弾・粘塑性構成モデルの拡張、土木学会論文集 C (地圏工学)、Vol.69, No.4, pp.404-416, 2013, doi: 10.2208/jscejge.69.404
- 86) Takayama, Y., Tsurumi, S., Iizuka, A., Kobayashi, I., Ohwada, H., Ishii, T., and Yahagi, R.: Effect of montmorillonite content on mechanical and hydraulics properties of bentonite and its numerical modeling, Geological Society, London, Special Publications, vol.400, pp.221-235, first published on April 7, 2014, doi:10.1144/SP400.13
(Takayama, Y., Tsurumi, S., Iizuka, A., Kobayashi, I., Ohwada, H., Ishii, T., and Yahagi, R.: Evaluation of long-term interaction between cement and bentonite for geological disposal, (4) Effect of montmorillonite content on mechanical and hydraulics properties of bentonite and its numerical modeling, Proc. 5th Clays in Natural and Engineered Barriers for Radioactive Waste Confinement, Montpellier, France 2012.10 の selected paper)
- 87) 佐藤毅, 長江剛志, 飯塚敦: 廃棄物処分場の遮水構造に内在する破損確率とライフサイクルコストの関係, ジオシンセティックス論文集, 第 28 巻, p. 109-116, 2013.12, doi: <http://doi.org/10.5030/jcigsjournal.28.109>
- 88) Sugiyama, Y., S. Nomura, A. Iizuka, K. Kawai, S. Tachibana, S. Kanazawa and T. Takeyama: Salt damage and soil contamination caused by the East Japan Earthquake and Tsunami, Theoretical and Applied Mechanics Japan, Vol. 62, pp.141-147, 2014, doi:10.11345/nctam.62.141
- 89) 杉山友理, 河井克之, 田中博之, 飯塚敦: 土/水/空気三相連成モデルによる間隙圧係数 B 値の解釈, 土木学会論文集 A2 (応用力学), DOI: 10.2208/jscejam.70.I_145, Vol. 70, No. 2 p. I_145-I_153, 2014, doi:10.2208/jscejam.70.I_145
- 90) 山田淳夫, 千々松正和, 藤原斉郁, 矢田勤, 秋山吉弘, 小峯秀雄, 飯塚敦: 放射性廃棄物の地下空洞型処分施設に用いる底部低透水層の転圧工法による施工品質の評価, 土木学会論文集 C (地圏工学) 71 (3), 147-162, 2015, DOI: 10.2208/jscejge.71.147
- 91) 小谷稔, 飯塚敦, 河井克之: 急性期災害医療における DMAT 配置モデルに関する考察, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol.71, No1 pp.32-45. 2015, DOI: 10.2208/jscejsp.71.32
- 92) 小谷稔, 飯塚敦, 河井克之: ワイブル分布を用いた被災者数情報のベイズ推定, 土木学会論文集 F6(安全問題), Vol.71, No1 pp.46-57. 2015, DOI: 10.2208/jscejsp.71.46
- 93) 杉山友理, 戎健次, 飯塚敦, 河井克之, 佐々木陽亮: 深海底プレート境界デコルマ帯におけるせん断破壊モデル, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.71, No.2 (応用力学論文集 Vol.18), I_605-I_612, 2015.
- 94) 川勝 拓哉, 河井 克之, TIWARI Binod, 飯塚 敦: 降雨時における傾斜地盤内空気の挙動について, 土木学会論文集 A2(応用力学), Vol.71, No.2 (応用力学論文集 Vol.18), I_171-I_180, 2015.
http://doi.org/10.2208/jscejam.71.I_171
- 95) 金澤 伸一, 橘 伸也, 飯塚 敦: 盛土構造物の排水能力に対する解析的検討, 土木学会論文集 A2(応用力学), DOI: 10.2208/jscejam.71.I_429, Vol.71, No.2 (応用力学論文集 Vol.18), p.I_429-I_436, 2015.
http://doi.org/10.2208/jscejam.71.I_429
- 96) Kawai, K., Viradeth, P., and Iizuka, A.: Soil/water/air coupled F. E. simulation of phreatic surface generation process within a river levee, Japanese Geotechnical Society Special Publication (The 15th Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering), Vol. 2, No. 49 p. 1714-1717, DOI: <http://doi.org/10.3208/jgssp.JPN-078>, 2015.

- 97) Takayama, Y., Iizuka, A. and Kawai, K.: Simulation of saturation process in a transuranium disposal facility, *Environmental Geotechnics*, ICE, E-ISSN2051-803X, DOI: <http://dx.doi.org/10.1680/jenge.14.00041>, Published Online: February 01, 2016, DOI: 10.1680/jenge.14.00041
- 98) 山田淳夫, 千々松正和, 秋山吉弘, 小峯秀雄, 飯塚敦: 放射性廃棄物の地下空洞型物処分施設に用いる側部低透水層の転圧工法による施工品質の評価, *土木学会論文集C (地圏工学)*, Vol.72, No.2, pp.164-178, 2016
- 99) Sugiyama, Y., Kawai, K. and Iizuka, A. : Effects of stress conditions on B-value measurement, *Soil and Foundation*, 2016

b) 国際会議 Proceedings

- 100) Ohta, H. and Iizuka, A. : Soil-structure interaction related to actual construction sequences, *Proc. of 6th International Conference on Numerical Methods in Geomechanics*, Vol.3, pp.2043-2050, 1988.4
- 101) Shoji, M., Matsumoto, T., Morikawa, S., Ohta, H. and Iizuka, A. : Coupled elasto-plastic deformation-flow finite element analysis using imaginary viscosity procedure, *Proc. of 6th International Conference on Numerical Methods in Geomechanics*, Vol.1, pp.299-304, 1988.4
- 102) Ohta, H., Nishihara, A., Iizuka, A., Morita, Y., Fukagawa, R. and Arai, K. : Unconfined compression strength of soft aged clays, *Proc. of 12th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering (ICSMFE), ISSMGE*, Vol.1, pp.71-74, 1989.8
- 103) Fukagawa, R., Ohta, H., Iizuka, A., Nishihara, A. and Morita, Y. : Effects of drainage on interpretation of pressuremeter tests in clay, *Proc. of 3rd International Conference on Pressuremeters*, Oxford Univ., pp.189-198, 1990.4
- 104) Ohta, H., Kaneko, Y., Ohtake, M. and Iizuka, A. : Strength of compacted earth fill, *Proc. of 11th International Conference of the Terrian-Vehicle Systems, ISTVS*, pp.1123-1128, 1990.8
- 105) Ohta, H., Iizuka, A., Nishihara, A., Fukagawa, R. and Morita, Y. : Design strength S_u derived from pressuremeter tests, *Proc. of International Conference on Computer Methods and Advances in Geomechanics, IAC-MAG*, Vol.1, pp.273-278, 1991.5
- 106) Ohta, H., Iizuka, A., Mitsuhashi, Y. and Nabetani, M. : Deformation analysis of anisotropically consolidated clay foundation loaded by 5 embankments, *Proc. of International Conference on Computer Methods and Advances in Geomechanics, IAC-MAG*, Vol.2, pp.1017-1022, 1991.5
- 107) Ichimoto, E., Nozu, M., Okuyama, K., Ohta, H. and Iizuka, A. : Analysis of post peak behaviour of foundations, *Proc. of International Conference on Computer Methods and Advances in Geomechanics, IAC-MAG*, Vol.2, pp.1165-1170, 1991.5
- 108) Ohta, A., Iizuka, A., Omote, Y. and Sugie, S. : 3-D analysis of soil/water coupling problems using elasto-viscoplastic constitutive relationship, *Proc. of International Conference on Computer Methods and Advances in Geomechanics, IAC-MAG*, Vol.2, pp.1191-1196, 1991.5
- 109) Ohta, H., Nishihara, A., Iizuka, A. and Morita, Y. : Use of field vane test data in analysis of soft clay foundation, *Proc. of C.P.Wroth Memorial Symposium: Predictive soil mechanics*, Oxford Univ., pp.387-405, 1992.7
- 110) Ohta, H., Iizuka, A., Monda, S., Kuwahara, M. and Muta, T. : Progressive failure of soft clay under

- embankment, Proc. of 13th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering (ICSMFE), ISSMGE, Vol.2, pp.751-754, 1994.1
- 111) Sugie,S., Iizuka,A. and Ohta,H.: Non-linear soil/water coupled formulation and choice of element type used in deformation/stability analysis, Proc. of International Conference on Computational Methods in Structure and Geotechnical Engineering, Vol.4, pp.1516-1520, 1994.12
- 112) Sugie,S., Iizuka,A. and Ohta,H. : Pore water migration during plane strain triaxial test, Proc. of International Symposium on Compression and Consolidation of Clayey Soils (IS-Hiroshima), JGS, Vol.1, pp.189-194, 1995.5
- 113) Ohta,H., Goren,S., Iizuka,A., Yamakami,T., Yamagishi,K. and Moroto,Y. : Numerical simulation of beam-shaped soil structure reinforced by geosynthetics, Proc. of International Symposium on Earth Reinforcement (IS-Kyushu), JGS, Vol.1, pp.255-260, 1996.11
- 114) Ohta,H., Hagino,Y., Udaka,T., Demura,Y. and Iizuka,A. : Seismic deamplifying effect of soft clay layers, Proc. of 14th International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering (ICSMFE), ISSMGE, Vol.2, pp.859-862, 1997.9
- 115) Ohta,H., Hirata,M., Iizuka,A., Yamakami,T., Yokota,T. and Ohmori,K. : Application of dilatancy models to soils reinforced by geosynthetics, Proc. of 6th International Conference on Geosynthetics, IGS, Vol.2, pp.551-556, 1998.3
- 116) Ohta,H., Iizuka,A., Yamakami,T., Ohmori,K. and Morikawa,Y. : Interpretation of in-situ and laboratory tests on soft clays, Proc. of 1st International Conference on Site Characterization, Vol.1, pp.403-408, 1998.4
- 117) Iizuka,A., Hirose,T., Shin,D., Ohmori,K. and Ohta,H. : Evaluation of undrained strengths obtained from three shear tests, Proc. of 1st International Conference on Site Characterization, Vol.2, pp.1265-1272, 1998.4
- 118) Iizuka,A., Kobayashi,I. and Ohta,H. : Dilatancy localization in clay specimen under shearing, Proc. of 4th International Workshop on Localization and Bifurcation Theory for Soils and Rocks, pp.345-354, 1998.11
- 119) Kobayashi,I., Iizuka,A., Ohta,H. and Hirata,M. : Shear strength mobilization in shear box test under constant volume, Proc. of International Symposium on Slope Stability Engineering, Geotechnical and Geoenvironmental Aspects (IS-Shikoku), JGS, pp.763-768, 1999.11
- 120) Pipatpongsa,T., Ohta,H., Iizuka,A. and Hashimoto,M. : Effects of some parameters on braced-excavation of soft clay by numerical studies, Proc. of Coastal Geotechnical Engineering in Practice (IS-Yokohama), JGS, Vol.1, pp.351-356, 2000.9
- 121) Kawaida,M., Morii,Y., Horikoshi,K., Iizuka,A., Kobayashi,I. and Ohta,H. : A repair work of a bridge abutment suffering from excessive deformation of soft clay foundation, Proc. of 3rd Regional Symposium on Infrastructure Development in Civil Engineering, pp.373-380, 2000.11
- 122) Pipatpongsa, T., Ohta, H., Kobayashi, I. and Iizuka, A.: Integration algorithms for soil constitutive equations with a singular hardening vertex, Proc. 3rd Int. Summer Symposium, JSCE, pp.201-204, 2001.8
- 123) Yoshida,T., Mori,K., Iizuka,A., Maegawa,F. and Amano,S. : Applicability of an elasto-plastic model for reinforced soil structures, Proc. of the International Symposium on Landmarks in Earth Reinforcement (IS-Kyushu 2001), JGS, Vol.1, pp.507-510, 2001.11
- 124) Iizuka,A., Hirata,M., Yokota,Y., Ohta,H., Kim,E.R. and Kubo,T : Compressive shear tests of compacted soils wrapped by geosynthetics, Proc of 7th International Conference on Geosynthetics, IGS, pp.1133-1136,

2002.9.

- 125) Ohta,H., Maeda,Y., Nishimoto,T., Ohmori,K., Yamakami,T., Iizuka,A. and Kobayashi,I. : A series of trial embankments of reinforced earth, Proc of 7th International Conference on Geosynthetics, IGS, pp.307-312, 2002.9.
- 126) Kojima,K., Tateyama,M., Iizuka,A, Ohta,H. and Fujita,K.: Mechanical influence of a large-scale excavation on the adjacent embankment, Proc. of 4th International Symposium on Geotechnical Aspects of Underground Construction in Soft Ground, IS-Toulouse, 2002.10.
- 127) Kawai,K., Wang,W., Sakurai,K. and Iizuka,A. : The deformation and the moisture characteristics of unsaturated soils under isotropic loading and undrained condition, Proc. of 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, pp.171-176, 2003.4
- 128) Honda,M., Seguchi,H., Kim,E., Kawai,K., Iizuka,A. and Karube,D. : A study of the relation between volume change characteristics of compacted soil and the condition of compaction, Proc. of 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, pp.177-180, 2003.4
- 129) Kim,E., Kawai,K. Iizuka,A. : Estimation of the consolidated yielding stress of compacted soil considering the effects of suction, Proc. of 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, pp.271-276, 2003.4
- 130) Iizuka,A., Kawai,K., Nishida,H., Honda,M. and Karube,D. : Computational soil/water coupled unsaturated soil behavior, Proc. of 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, pp.299-304, 2003.4
- 131) Kawai,K., Nagareta,H., Hagiwara,M. and Iizuka,A. : Suction change of compacted soils during static compaction test, Proc. of 2nd Asian Conference on Unsaturated Soils, pp.429-434, 2003.4
- 132) Iizuka,A., Kawai,K. and Nishida,H. : Numerical assessment of long term non-uniform settlement of man-made island, Proc. of 13th European Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Prague, Vol.1, pp.709-712, 2003.8.
- 133) Kawai,K., Iizuka,A., Umehara,H. Wang,W. and Kato,S. : Influence of water level change on the behavior of unsaturated zone, Proc. of 13th European Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Prague, Vol.1, pp.735-738, 2003.8.
- 134) Ohta, H., Nishihara, A. and Iizuka, A. : Undrained strength measured in lab/in-situ tests and strength mobilized at failure in the field, Proc. of JSPS Core University Program on Environmental Engineering Symposium, 8-9 August 2003, The Peninsula Manila, Makati City, Metro Manila, Philippines, pp.391-408, 2003.8
- 135) Ohno,S., Iizuka,A. and Ohta,H. : Soil/water coupled response to repeated loading, Proc. of JSPS Core University Program on Environmental Engineering Symposium, 8-9 August 2003, The Peninsula Manila, Makati City, Metro Manila, Philippines, pp. 381-390, 2003.8
- 136) Ohta,H, Iizuka,A., Inagaki,M., Nozu,M. and Takeyama,T. : 15 years continuous settlement of a highway embankment on very soft clay, Keynote Lecture, Proc. of International Workshop on Geotechnics of Soft Soils, Theory and Practice, Noordwijkerhout, pp. 49-62, 2003.9.
- 137) Iizuka,A., Tachibana,S., Kawai,K. and Ohta,H. : The change of instantaneous shear modulus associated with non-coaxiality of normally consolidated clays, Proc. of the International Workshop on Prediction and Simulation Methods in Geomechanics (IWS-Athens 2003), Athens, Greece, pp.21-24, 2003.10
- 138) Iizuka, A. Hirata, M. and Ohta, H. : Constitutive parameters of compacted sandy soils, Proc. of 13th

- Regional Conference for Africa, The Involvement of Geotechnical Engineering in Infrastructure development in Africa, Editors: Sahli,M., Bahi,L. and Khalid,R, pp.713-719, 2003.12
- 139) Iizuka, A., Hirata, M., Ohta,H., Kawai, K. and Yokota, Y. : The role of numerical simulation for geosynthetic reinforced soil structures - from laboratory tests to full scale structures -, GeoAsia2004, Invited Lecture at ISSMGE TC9 Sponsored Session, Proceedings of the 3rd Asian regional Conference on Geosynthetics, Seoul, Korea, pp.153-172, 2004.6
- 140) Kim, E.R., Kim, Y.S., Iizuka,A and Kawai,K. : Modeling of the confining effect due to the geosynthetics wrapping of compacted soil specimen considering suction effect, GeoAsia2004, Proceedings of the 3rd Asian regional Conference on Geosynthetics, Seoul, Korea, June, pp.707-714, 2004.6
- 141) Iizuka,A., Kawai,K. and Wang,W. : ‘Safety and Symbiosis’ from viewpoint of geomechanics, Proc. KU-UW International Symposium #1 on Design Strategy towards Safety and Symbiosis of Urban Space, Seattle, USA, June14-15, pp.81-88, 2004
- 142) Iizuka,A., Tachibana,S., Kawai,K. and Ohta,H. : The non-coaxiality induced by stress rate on the instantaneous shear modulus of clays, in the book of Dislocations, Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Key-note-lecture, Proc. of PLASTICITY’05: the 11th International Symposium on Plasticity and its Current Applications, edited by A.S.Khan and A.R.Khoei, pp.265-267, 2005.1
- 143) Ohno,S., Iizuka,A., Kawai,K. and Ohta,H. : Elasto-plastic constitutive equation to describe re-liquefaction phenomenon, in the book of Dislocations, Plasticity, Damage and Metal Forming: Material Response and Multiscale Modeling, Proc. of PLASTICITY’05: the 11th International Symposium on Plasticity and its Current Applications, edited by A.S.Khan and A.R.Khoei, pp.286-288, 2005.1
- 144) Iizuka,A., Kawai,K. and Wang,W. : The effect of evapo-transpiration through vegetation on unsaturated ground deformation, Proc. of Symposium on Elasto-plasticity, Fukuoka, Feb.28., pp.37-46, 2005.2
- 145) Iizuka,A., Kawai,K. and Wang,W. : Mechanical behavior of partly saturated ground considering the effect of evaporation and transpiration, The International Symposium on Numerical Simulation of Environmental Problems, Okayama, 2004 October, Journal of the Faculty of Environmental Science and Technology, Okayama University, pp.203-209, 2005.5
- 146) Iizuka,A, Nishida,H. and Kawai,K.: Influence of ground improvement on the quality of man-made islands, Proc. 11th International Association for Computer Methods and Advances in Geomechanics, pp.327-332, 2005.6
- 147) Ohno,S., Iizuka, A. and Ohta, H. : Elasto-plastic constitutive model to describe soil contractancy in a wide variety under axi-symmetric stress condition, Proc. of the Fifth Workshop on Safety and Stability of Infrastructures against Environmental Impacts, De La Salle University, Manila, Philippines, December 5-6, pp.192-203, 2005.12
- 148) Honda, M., Iizuka,A., Ohno,S., Kawai,K. and Wang,W., An evaluation method for the volume change characteristics of compacted soil, Proc. of the 4th International Conference on Unsaturated Soil, International Society of Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Canadian Geotechnical Society, Carefree, Arizona, pp.837-848, 2006.4
- 149) Iizuka, A., Hirata, M., Ohta, H. and Yokota, Y., Soil cantilever reinforced by geosynthetics and

- pre-stressed steel bars, Proc. of 8th International Conference on Geosynthetics, IGS, pp.1213-1218 (CD-ROM), 2006.9
- 150) Hirai,T., Shigeno,Y. and Iizuka,A., Elasto-plastic constitutive modeling for dilative geomaterials in swelling, Proc. of 3rd International Workshop on New Frontiers in Computational Geotechnics, Xi'an, China, pp.91-96, 2006.10
- 151) Horikoshi,K., Honjo,Y. and Iizuka,A., New trend toward performance-based design in the construction industry, TAIPEI2006 International Symposium on New Generation Design Codes for Geotechnical Engineering Practice, Nov. 2~3, 2006, Taipei, Taiwan
- 152) Honda,M., Ohno,S., Iizuka,A., Kawai,K. and Ohta,H., A study of yield stress in unsaturated clay, Proc. 3rd Asian Conference on Unsaturated Soils, April, pp.219-233, 2007.4
- 153) Iizuka,A., Kawai,K., Tachibana,S., Honda,M., Fujikawa,K., Pipatpongsa,T. and Wang,W., The salt disaster problem and its mathematical modeling, Proc. 3rd Asian Conference on Unsaturated Soils, April, pp.347-352, 2007.4
- 154) Kawai,K., Iizuka,A. and Tachibana,S. : The influences of evapo-transpiration on the ground, Proc. of the 3rd Asian Conference on Unsaturated Soils, April,pp.359-364, 2007.4
- 155) Tachibana,S., Iizuka,A., Kawai,K., Kobayashi,I., Pipatpongsa,T. and Ohta,H.: Inhomogeneous Deformation Developing in a Clay Specimen, Proc. 16th Southeast Asian Geotechnical Conference, 8-11 May 2007,Sheraton Subang, Subang Jaya, Malaysia, pp.289-296, 2007.5
- 156) Pipatpongsa,T., Takeyama,T., Ohta,H. and Iizuka,A.: Coefficient of Earth Pressure at rest derived from the Sekiguchi-Ohta model, Proc. 16th Southeast Asian Geotechnical Conference, 8-11 May 2007, Sheraton Subang, Subang Jaya, Malaysia, pp.289-296, 2007.5
- 157) Honda,M., Iizuka,A., and Kawai,K. : An application of performance-based design concept to design of compacted ground, Proc. 1st International Symposium on Geotechnical Safety & Risk, ISGSR2007, October 18-19, 2007, Shanghai, China
- 158) Kobayashi,I., Toida,M., Sasakura,T., Iizuka,A. and Ohta,H. :Modelling of Compression/Swelling Behavior of Compacted Bentonite using Constant Water-Content Line and Constant Degree-of-Saturation Line, Proc. International Workshop on Long-term Performance of Smectitic Clays Embedding Canisters with Highly Radioactive Waste, Lund, Sweden, November 26-28, 2007
- 159) Takeyama, T., Pipatpongsa, T., Iizuka, A., Mizuta, T., Ohno, S. and Ohta, H. : Soil/water coupled F.E. Simulation of field performance of 5 embankments placed on homogeneous clay, First Sri Lankan Geotechnical Society International Conference on Soil and Rock Engineering, Colombo, Sri Lanka, August 5-11, 2007
- 160) Ohno,S., Takeyama,T., Pipatpongsa,T., Ohta,H. and Iizuka,A.: Analysis of embankment by nonlinear contractancy description, Proc. 13th Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Kolkata, India, pp.1097-1100, 2007.12.
- 161) Ohta,H. Pipatpongsa,T., Takeyama,T., Ohno,S. and Iizuka,A.: Comparison of original and modified cam clay models extended for Ko-consolidated clays, Proceedings of the Sri Lankan Geotechnical Society's First International Conference on Soil & Rock Engineering, Aug 2007
- 162) Furuya,H. and Iizuka,A.: Introduction about the Plan of Course System in Lectures of Japanese

- Geotechnical Society, Proc. the first International Conference on Education and Training in Geo-engineering Sciences: Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Engineering Geology, Rock Mechanics, Constantza, Romania, 2nd to 4th of June, pp.489-492, 2008.6
- 163) Ishigaki, T., Omoto, S., Iizuka, A., Takeyama, T. and Ohta, H. : Numerical modeling for life cycle planning of highway embankments on soft foundations, Proc. of the 1st International Conference on Transportation Geotechnis, Nottingham, UK., August 25-27, In book: Advances in Transportation Geotechnics, DOI: 10.1201/9780203885949.ch52, pp.389-395, 2008.
- 164) Honda, M., Ohno, S., Iizuka, A., Kawai, K. and Ohta, H. : Theoretical undrained shear behaviour of unsaturated soils, 12th International Conference of International Association for Computer Methods and Advances in Geomechanics (IACMAG), Goa, India, October 1-6, 2008
- 165) Kawai,K., Iizuka,A., Kanazawa,S., Fukuda,A., Tachibana,S. and Ohno,S. : Stress-strain and water retention characteristics of micro-porous ceramic particles made with burning sludge, Proc. of the International Symposium on Prediction and Simulation Methods for Geohazard Mitigation (IS-Kyoto 2009), Kyoto, Japan, pp.339-345, 2009.5
- 166) Kawai,K., Iizuka,A., Tachibana,S. and Ohno,S. : Impacts of plant-induced uptake on the stability of the earth structure, Proc. 17th International Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering (ICSMGE), Alexandria, Egypt, 5-9 October, DOI: 10.3233/978-1-60750-031-5-526, Vol.1, pp.526-529, 2009.10
- 167) Kanazawa.S., Kawai,K., Ohno,S., Tachibana,S., Pipatpongsa,T., Takeyama,T. and Iizuka,A. : A finite element simulator for mechanical behavior of unsaturated earth structures exposed to evaporation and moisturization, Proc. 4th Asia-Pacific Conference on Unsaturated Soils, pp.711-718, 2009.11
- 168) Khosravi, M. H., Pipatpongsa, T., Kanazawa, S., Iizuka, A. : Effect of yield function's form on performance of the Backward-Euler stress update algorithm for the original Cam-clay model, Proc. 11th JSCE International Summer Symposium, pp.161-164, 2009.
- 169) Pipatpongsa, T., Heng,S., Kanazawa,S. and Iizuka,A.: Stress propagation in semi-infinite planar heap of granular medium possessing self-weight in loose condition, Proc. the Asian Pacific Conference for Materials and Mechanics 2009: JSME No.09-202, general sessions: a196, Yokohama, 13-16 November 2009
- 170) Kawazu, J., Kawai, K., Kanazawa, S. and Iizuka, A.: Mechanical behaviors and water retention characteristics of micro-porous ceramic particles produced by burning sludge, Proc. 5th Int. Conf. on Unsaturated Soils, pp.277-282, 2010.9
- 171) Shibata, M., Kawai, K., Kanazawa, S. and Iizuka, A.: Simulation of static compaction with unsaturated soil/water coupled F. E. analysis, Proc. 5th Int. Conf. on Unsaturated Soils, pp.965-971, 2010.9
- 172) Nomura, S., Kawai, K., Kanazawa, S. and Iizuka, A.: Study of stratification resistant to salt damage, Proc. 5th Int. Conf. on Unsaturated Soils, pp.1133-1139, 2010.9
- 173) Tanaka, M., Kawai, K., Kanazawa, S., Iizuka, A., Tachibana, S., Ohno, S. and Takeyama, T.: Banking simulation with a constitutive model for unsaturated soil, Proc. 5th Int. Conf. on Unsaturated Soils, pp.1337-1342, 2010.9
- 174) Pipatpongsa,T. Heng,S. Iizuka,A. and Ohta,H. : Static pressure distribution beneath granular wedges sloped at angle of repose, IS-Seoul2011, Proc. International Symposium on Deformation Characteristics of

Geomaterials (IS-Seoul 2011), 1-3 Sep. 2011, Vol.2, pp. 924-932, 2011.9

- 175) Iizuka,A., Takayama,Y., Tachibana,S., Ohno,S., Kobayashi,I. and Kawai,K.: A numerical interpretation of density homogenization of bentonite material in wetting process, , Proc. 14th International Conference on Environmental Remediation and Radioactive Waste Management (ICEM2011), Sept.25-29, Reims, France, 2011.9
- 176) Iizuka,A., Kawai,K., Nomura,S., Tachibana,S., Ohno,S. and Pipatopongsa,T. : The role of unsaturated geomechanics in desertification due to salt damage, Keynote Lecture, Proc. 5th Asia-Pacific Conference on Unsaturated Soils (AP-UNSAT2011), pp.31-44, 2012.3
- 177) Nomura, S., Kawai,K., Iizuka,A., Tachibana,S. and Kanazawa,S.: Mathematical model of soil/water/air coupled problem for unsaturated soils considering mass transfer within pore-water, Proc. 5th Asia-Pacific Conf. on Unsaturated Soils, pp.287-292, 2012.3
- 178) Tachibana, S., Takayama,Y., Iizuka,A., Kawai,K., Ohno,S. and Kobayashi,I.:Elasto-plastic constitutive model for expansive soils with a concept of fully saturation curve, , Proc. 5th Asia-Pacific Conf. on Unsaturated soils, pp.325-330, 2012.3
- 179) Phommachanh, V., Maegawa,F, Kawai,K. and Iizuka,A.: Expression of self-hardening property of coal fly-ash, Proc. 5th Asia-Pacific Conf. on Unsaturated soils, pp.489-494, 2012.3
- 180) Kawai, K., Shibata,M., Ohtsuki,T., Phommachanh,V., Kanazawa,S. and Iizuka,A.: Simulations of static compaction with soil/water /air coupled F. E. analysis, Proc. 2nd European Conf. on Unsaturated soils, pp.181-187, 2012.
- 181) Sakamoto, S., Kawai,K., Phommachanh,V. and Iizuka,A.: Influences of soil material parameters in compaction simulation with soil/water/air coupled F. E. code, Proc. of 2nd Int. Conf. GEOMATE 2012, pp.391-396, 2012.
- 182) Takayama, Y., Tsurumi,S., Iizuka,A. and Kawai,K.: An interpretation of mechanical properties of bentonite as a non-linear elastic material, Proc. of 2nd Int. Conf. GEOMATE 2012, pp.666-671, 2012.
- 183) Sugiyama, Y., Nomura,S., Kawai,K. and Iizuka,A.: Protective measures of the monumental pine in Rikuzentakada with soil-water-air-solved material coupled model, Proc. of 2nd Int. Conf. GEOMATE 2012, pp. 828-833, 2012.
- 184) Takayama,Y., Tsurumi,S., Iizuka,A., Kobayashi,I., Ohwada,H., Ishii,T., and Yahagi,R.: Evaluation of long-term interaction between cement and bentonite for geological disposal, (4) Effect of montmorillonite content on mechanical and hydraulics properties of bentonite and its numerical modeling, Proc. 5th Clays in Natural and Engineered Barriers for Radioactive Waste Confinement, Montpellier, France 2012.10
- 185) Ishii,T., Yahagi,R., Ohwada,H., Kobayashi,I., Takazawa,M., Yamaguchi,K., Takayama,Y., Tsurumi,S., and Iizuka,A.: Evaluation of long-term interaction between cement and bentonite for geological disposal, (4) Chemical alteration analysis of bentonite in consideration of hydraulic/mechanical properties, Proc. 5th Clays in Natural and Engineered Barriers for Radioactive Waste Confinement, Montpellier, France, 2012.10
- 186) Kawai, K., Iizuka,A. and Kanazawa,S.: Expression of mechanical characteristics in compacted soil with soil/water/air coupled F.E. simulation, Proc. Int. Conf. on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, Paris, Vol.1, pp.1129-1132, 2013
- 187) Takayama,Y., Iizuka,A., Ohwada,H., Ishii,T. and Kobayashi,I.: Coupled Hydraulic-Mechanical-Chemical

Modeling for Cement-Bentonite Barrier System (2) Mechanical Modeling of Bentonite Engineered Barrier in Consideration of Long Term Chemical Alteration, Proc. International Conference on the Performance of Engineered Barriers: Backfill, Plugs & Seals, Physical and Chemical Properties, Behaviour & Evolution, February 6-7, BGR, Hannover, Germany, 2014

- 188) Kawai,K., Phommachanh,V., Sakamoto,S. and Iizuka,A.: Compaction simulation with soil/water/air coupled F. E. code and parametric study, Proc. International Conference on Unsaturated Soils: Research and Applications (UNSAT2014), DOI: 10.1201/b17034-76, Vol.1, pp.545-552, 2014.7
- 189) Takayama,Y. Ikuta,Y., Iizuka,A., Kawai,K., Taki,T., Sakao,R. and Ichikawa,Y.: Numerical evaluation of a multiple soil barrier system preventing water infiltration, Proc. International Conference on Unsaturated Soils: Research and Applications (UNSAT2014), DOI: 10.1201/b17034-91, Vol.1, pp.659-665, 2014.7
- 190) Phommachanh,V., Matsuo,N., Ienaga,K., Kawai,K., Iizuka,A. and Tiwari,B.: Application of soil/water/air coupled F.E. code to predict seepage and deformation on sandy slope, Proc. International Conference on Unsaturated Soils: Research and Applications (UNSAT2014), Vol.1, pp.621-627, 2014.7
- 191) Nomura,S., Sugiyama,Y., Kawai,K. and Iizuka,A.: Derivation of mass transfer model for unsaturated soil and its applications, Proc. International Conference on Unsaturated Soils: Research and Applications (UNSAT2014), Vol.2, pp.1179-1187, 2014.7
- 192) Sugiyama, Y., H. Tanaka, K. Kawai and A. Iizuka: Expression of the pore-pressure coefficient B with numerical simulation, Proc. 14th International Conference of International Association for Computer Methods and Advances in Geomechanics (IACMAG), pp.403-408, 2014.9
- 193) Takayama, Y., R. Hino, A. Iizuka and K. Kawai: Numerical simulation of saturation process in TRU disposal facility, Proc. 14th International Conference of International Association for Computer Methods and Advances in Geomechanics (IACMAG), pp.409-414, 2014.9
- 194) Sugiyama,Y., Kawai,K., Iizuka,A. and Nakatani,N.: Influence of stress release after sampling on shear characteristics, Proc. International Conference on Soft Ground Engineering, Singapore, 2015. 12
- 195) Kawai,K. , Phommachanh,V., Kawakatsu,T. and Iizuka,A.: Explanation of Dry Density Distribution Induced by Compaction Through Soil/Water/Air Coupled Simulation, Proc. 3rd International Conference on Transportation Geotechnics (ICTG2016), Guimaraes, Portugal, 2016

c) 国内シンポジウム論文集

- 196) 太田秀樹, 飯塚敦, 西原晃, 森田悠紀雄, 深川良一, 荒井克彦: 不攪乱試料の残留有効応力と1軸圧縮強度, サンプリングシンポジウム論文集, 土質工学会, pp.35-40, 1989.3
- 197) 太田秀樹, 松本樹典, 飯塚敦: 大深度堅坑の掘削シミュレーションと施工上の問題点, 第34回土質工学シンポジウム論文集, 土質工学会, pp.287-294, 1989.11
- 198) 飯塚敦, 矢富盟祥, 八嶋厚, 佐野郁雄, 太田秀樹: せん断帯(すべり線)の生成機構と応力誘導異方性, 第34回土質工学シンポジウム論文集, 土質工学会, pp.225-232, 1989.11
- 199) 八嶋厚, 矢富盟祥, 飯塚敦, 佐野郁雄, 太田秀樹: 平面ひずみ試験におけるせん断帯生成シミュレーション, 第34回土質工学シンポジウム論文集, 土質工学会, pp.233-240, 1989.11
- 200) 一本英三郎, 野津光夫, 奥山一典, 太田秀樹, 飯塚敦: ひずみ軟化を示す地盤挙動の有限要素

- 解析, 第 35 回土質工学シンポジウム論文集, 土質工学会, pp.39-46, 1990.11
- 201) 杉江茂彦, 飯塚敦, 太田秀樹: 3次元土/水連成 FEM における種々の離散化と計算精度・効率, 構造工学における数値解析法シンポジウム論文集, 日本鋼構造協会, 第 18 巻, pp.33-38, 1994.7
- 202) 飯塚敦, 前川英範, 森川嘉之: 粘性土の弾塑性構成式の一表現, 地盤の破壊とひずみの局所化に関するシンポジウム論文集, 土質工学会, pp.135-142, 1994.10
- 203) 飯塚敦, 太田秀樹, 杉江茂彦: 破壊近傍での有限要素の特性変化, 地盤の破壊とひずみの局所化に関するシンポジウム論文集, 土質工学会, pp.181-188, 1994.10
- 204) 太田秀樹, 勝山克二, 森田悠紀雄, 飯塚敦: 海成粘土の一面せん断特性と一軸圧縮強度・ベーン強度の力学的関連性, 第 39 回土質工学シンポジウム論文集, 土質工学会, pp.187-194, 1994.11
- 205) 大森剛志・飯塚敦・太田秀樹・林正夫: 都市型 CAES タンクの周辺軟岩安定性に関する数値解析—関口・太田の弾粘塑性モデルによる予備的考察—, 岩の力学'95(岩の力学連合会, 東京), pp.1022-1025, 1995
- 206) 太田秀樹, 森川嘉之, 勝山克二, 森田悠紀雄, 飯塚敦: 一面せん断試験の力学的意義と結果の解釈, 直接型せん断試験の方法と適用に関するシンポジウム論文集, 地盤工学会, pp.147-154, 1995.2
- 207) 太田秀樹, Goren,S., 飯塚敦, 山上尚幸, 山岸克彰, 諸戸靖史: 梁形状のジオシンセティックス補強土構造物の力学挙動, 第 40 回地盤工学シンポジウム論文集, 地盤工学会, pp.331-338, 1995.11
- 208) 小林一三, 飯塚敦, 太田秀樹: 間隙水の移動を考慮した極限解析, 第 40 回地盤工学シンポジウム論文集, 地盤工学会, pp.237-242, 1995.11
- 209) 太田秀樹, 飯塚敦, 石川勇, 菅井一嘉: 軟弱地盤上に施工された高速道路盛土による変形とその数値シミュレーション, 地盤工学における逆解析の適用と施工管理に関するシンポジウム論文集, 地盤工学会, pp.123-132, 1997.4
- 210) Goren,S., 太田秀樹, 飯塚敦, 山上尚幸: ジオシンセティックスで補強された盛土構造物の変形挙動, 地盤工学における逆解析の適用と施工管理に関するシンポジウム論文集, 地盤工学会, pp.145-150, 1997.4
- 211) Pipapongsa,T., 小林一三, 太田秀樹, 飯塚敦: 異方性地盤材料の構成モデルの陰解法有限要素解析への適用, 第 51 回理論応用力学講演会講演論文集 (NCTAM2002), JSPS 日本学術振興会メカニクス・構造研究連絡委員会, pp.211-212, 2002.1
- 212) 飯塚敦・村上章・宮田喜壽・中角功: 地盤沈下の予測理論と実際, 地盤工学会委員会主催シンポジウム No.126, 施工過程を考慮した地盤の変形・破壊予測に関するシンポジウム発表論文集, pp.17-24, 2002.9

d) 紀要・研究所報告

- 213) 太田秀樹, 山上尚幸, Goren,S., 石垣勉, 飯塚敦: ジオテキスタイルで補強された複合地盤の曲げ剛性, 金沢大学工学部紀要, 金沢大学, 第 26 巻(通巻第 65 号), pp.19-26, 1993.3
- 214) 太田秀樹, 山上尚幸, 飯塚敦, 坪内正記, 武内秀樹: ハダカ中空円筒供試体による Ko 圧密非排水せん断試験装置, 金沢大学工学部紀要, 金沢大学, 第 26 巻(通巻第 65 号), pp.27-33, 1993.3
- 215) 本田道織, 軽部大蔵, 飯塚敦, 河井克之: 締固め土の圧縮挙動に関する弾塑性構成モデルの適用, 神戸大学大学院自然科学研究科紀要, 神戸大学, Vol.18-B, pp.51-59, 2000.4
- 216) 小島謙一, 太田秀樹, 館山勝, 飯塚敦: 開削工事における周辺地盤変形要因に関する解析的研

- 究, 鉄道総合技術論文誌鉄道総研報告, 鉄道総合技術研究所, Vol.14, No.8, pp.25-30, 2000.8
- 217) 河井克之, 金銀羅, 流田寛之, 飯塚敦, 鳥居宣之: 締固め土のサクシオンと圧密降伏応力の関係について, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 神戸大学都市安全研究センター, 第 6 号, pp.397-408, 2002.3.
- 218) 飯塚敦, 道奥康治, 藤川和彦: 河川水位上昇に伴う不飽和堤防盛土内の応力状態の変化予測, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 9 号, pp.97-109, 2005.3
- 219) 大野進太郎, 竹山智英, 飯塚敦, Pipatpongsa Thirapong, 太田秀樹: 地盤動態解析の基礎理論, 東京工業大学 都市地震工学センター, 第 96 回工学地震学・地震工学談話会, 地震工学研究レポート No.96, pp.35-46, 2005.10
- 220) 飯塚敦, 西田博文, 河井克之: 軟弱盛土基礎地盤の挙動予測における地盤調査結果の差異の影響, 建設工学研究所論文報告集, 第 47 号, pp.87-100, 2005.11
- 221) 平井 卓, 重野喜政, 高治一彦, 飯塚 敦: 膨潤性土質材料の過圧密時の摩擦を考慮した弾塑性構成則の改良, 建設工学研究所論文報告集, 第 49 号, pp.67-76, 2007.11
- 222) ピパットポンサー・テュラボン, 飯塚敦, 河井克之: タイ東北部における塩害と地盤変状シミュレータを用いた国際協力の可能性, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 11 号, pp.43-50, 2008.3
- 223) 橋伸也, ジョコ・ソエラノ, 飯塚敦: ジョグジャカルタ近郊集落における地盤条件の調査報告, 都市安全研究センター報告, 第 12 号, pp.33-42, 2008.6
- 224) 河井克之, 田中麻穂, 金澤伸一, 橋伸也, 大野進太郎, 飯塚敦, 竹山智英: 不飽和土/水連成解析による築堤シミュレーション, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 13 号, pp.1-8, 2010.
- 225) 飯塚敦, 河井克之, 高山裕介, 前田圭介: ベントナイト材料の力学挙動のモデル化, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 15 号, pp.13-20, 2011.
- 226) 野村瞬, 河井克之, 金澤伸一, 橋伸也, 飯塚敦: 土/水/空気/溶解物質連成問題の定式化とその応用, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 15 号, pp.21-28, 2011.
- 227) 田中麻穂, 河井克之, 金澤伸一, 飯塚敦: 盛土材料の初期含水条件が初期応力状態に及ぼす影響, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 15 号, pp.29-40, 2011.
- 228) 河津次郎, 安原昇平, 河井克之, 飯塚敦: スマート三軸試験装置を用いた三軸圧縮せん断試験, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 15 号, pp.41-50, 2011.
- 229) 柴田昌輝, 大槻剛瑠, 河井克之, 飯塚敦: 土/水/空気連成有限要素解析プログラムを用いた締固め土の強度発現メカニズムの検討, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 15 号, pp.51-58, 2011.
- 230) 籠橋慶太, 飯塚敦, 河井克之: 地下水位変動に伴う地盤の長期沈下, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 16 号, pp.23-32, 2012.
- 231) 荒金延明, 宮本郁美, 飯塚敦, 河井克之: 神戸空港島の経年品質評価, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 16 号, pp.33-43, 2012.
- 232) 藤原鉄也, 飯塚敦, 河井克之: 不飽和土の力学によるジオテキスタイル補強効果の検討, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 16 号, pp.45-54, 2012.
- 233) Phommachanh,V, 前川太, 河井克之, 飯塚敦: 自硬性を考慮した石炭灰のモデル化, 神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 16 号, pp.63-74, 2012.
- 234) 佐藤武斗, ポムマチャン ヴィラデス, 河井克之, 飯塚敦: 土/水/空気連成解析手法による異

- なる含水比の締固め地盤の品質評価, 都市安全研究センター研究報告, 第 17 号, pp.31-38, 2013
- 235) 小谷 稔、飯塚 敦: 災害派遣医療チームの配置モデルに関する考察, 都市安全研究センター研究報告, 第 17 号, pp.23-30, 2013
- 236) 前田圭介、飯塚 敦、河井克之、高山裕介: ベントナイトの特異性の解明と構成関係の導出, 都市安全研究センター研究報告, 第 17 号, pp.39-48, 2013
- 237) 安原昇平、吉富 力、河井克之、飯塚 敦: 過圧密粘土の吸水軟化による正規圧密粘土化現象の検証, 都市安全研究センター研究報告, 第 17 号, pp.49-60, 2013
- 238) 飯塚敦: 防災・減災に対する国土強靱化, CFK ネットワーク, 中央復建コンサルタンツ広報誌, pp.3-4, 2014.4
- 239) 鶴見修平、飯塚 敦、河井克之: 長期化学的変質を考慮したベントナイト緩衝材の力学モデル化, 都市安全研究センター研究報告, 第 18 号, pp.23-31, 2014
- 240) 杉山友理、田中博之、飯塚 敦、河井克之: 間隙気体の溶解を考慮した不飽和力学モデル, 都市安全研究センター研究報告, 第 18 号, pp.32-39, 2014
- 241) 吉井大貴、西門 優、飯塚 敦、河井克之: 土の粒度分布に注目した放射性物質吸着土壌の減容化に関する検討, 都市安全研究センター研究報告, 第 18 号, pp.40-43, 2014
- 242) 田中琢、飯塚敦、河井克之: 土/水/空気/溶解物質連成有限要素解析プログラムを用いた塩害抑制手法の検討, 都市安全研究センター研究報告, 第 18 号, pp.44-53, 2014
- 243) 生田勇輝、岡田真理子、飯塚 敦: 廃砂堆積場の表面止水層性能評価, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.10-27, 2015
- 244) 樋野隆太、飯塚敦: 放射性廃棄物地層処分におけるベントナイト緩衝材の変質評価手法の開発, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.28-44, 2015
- 245) 戎健次、杉山友理、飯塚敦、河井克之、佐々木陽亮: 深海底デコルマ帯におけるせん断破壊モデル, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.45-58, 2015
- 246) 松尾直人、飯塚敦、河井克之: ベルセロ法を用いた高容量テンシオメータの開発, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.59-66, 2015
- 247) 中村翔一、河井克之、飯塚敦: 土/水/空気連成解析によるキャピラリーバリアシステムの性能評価, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.67-74, 2015
- 248) 西門優、飯塚敦、河井克之: 粒度分布に注目した土粒子吸着物質の除去方法の検討, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.75-84, 2015
- 249) 吉富力、妹川賢司、飯塚敦、河井克之、ロハニ タラニディ: 弾塑性動的な地盤モデルのためのパラメータの同定, 都市安全研究センター研究報告, 第 19 号, pp.85-100, 2015

e) 総説・講座

- 250) 飯塚敦: 沈下・変形を予測する, 特集「理論」と「経験」と地盤問題に挑む, 土木学会誌 5 月号, 土木学会, Vol.86, pp.16-18, 2001.5
- 251) 飯塚敦: 5.土と水の連成問題, 講座: 有限要素法の基礎と地盤工学への応用, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.49, No.7, pp.37-43, 2001.7
- 252) 飯塚敦: 6.地盤の変形, 講座: 有限要素法の基礎と地盤工学への応用, 土と基礎, 地盤工学会, Vol.49, No.8, pp.31-36, 2001.8

- 253) 飯塚敦：地盤の弾・(粘)塑性構成式－地盤の変形シミュレーション－，第16回塑性加工技術フォーラム「非金属材料の塑性変形」講演集，日本塑性加工学会・シミュレーション統合システム分科会，2002.11
- 254) 飯塚敦：地盤の変形解析の現状と将来展望，技術の現状とこれから求められるもの，地質と調査，'03第3号（通巻第97号），pp.10-15，2003.11
- 255) 飯塚敦：地盤工学における技術者教育の意義と学会の役割，総説，土と基礎，Vol.54，No.1，Ser.No.576，pp.1-4，2006.1
- 256) 飯塚敦：「土構造物の品質」における圧密・変形予測，特集：圧密沈下の予測・対策の現状，総説，基礎工，Vol.34，No.6，pp.8-11，2006.6
- 257) Pipatpongsa Thirapong・飯塚敦・河井克之：タイ東北部の塩害調査と「ジグソー・ピース作戦」，論説，地盤工学会，土と基礎，Vol.55，No.3，Ser.No.590，pp.22-24，2007.3
- 258) 河井克之，金澤伸一，飯塚敦：不飽和土の力学理論から見た土の締固め，基礎工，Vol.7，pp.32-35，2009.7
- 259) 飯塚敦：地盤工学における数値解析技術，地盤工学会60周年記念号，地盤工学会誌，地盤工学会，Vol.58，No.1，pp.40-41，2010.1
- 260) 飯塚敦：国際的な性能設計化の潮流における地盤解析技術の役割，土木技術，理工図書，7月号，Vol.66，No.7，pp.23-27，2011.7
- 261) 飯塚敦：土構造物における観測化施工－性能設計下における建設イノベーションを目指して，ベース設計資料，No.158土木編（2013年後期版），建設工業調査会，pp.56-59，2013
- 262) 飯塚敦：性能設計化地層処分技術への期待，土木技術，理工図書，3月号，Vol.70，No.3，pp.8-13，2015.3

学会誌記事

- 263) 飯塚敦：第25回土質工学研究発表会 総括・一般報告，地盤の応力と変形，土と基礎，土質工学会，Vol.38，No.10，p.59，1990.10
- 264) 村上章，飯塚敦：コロラド見聞録，土と基礎，土質工学会，Vol.41，No.9，pp.55-56，1993.
- 265) 飯塚敦：第13回国際土質基礎工学会議報告，ディスカッションセッション，2.3 地盤工学教育，土と基礎，土質工学会，Vol.42，No.7，pp.37-38，1994.7
- 266) 飯塚敦：第29回土質工学研究発表会 総括，せん断(粘性土)，土と基礎，土質工学会，Vol.42，No.12，p.21，1994.12
- 267) 飯塚敦：同一教官による同一講義の実験，土木学会誌3月号，土木学会，Vol.81，pp.32-35，1996.3
- 268) 飯塚敦：第14回国際地盤工学会議報告，ディスカッションセッション，4.2 地下構造物の施工事例と現場計測，土と基礎，地盤工学会，Vol.46，No.3，p.26，1998.3
- 269) 飯塚敦：ジオシンセティックス補強土構造物の限界状態設計，Prof. A. McGownによるKeynote lectureの紹介，ジオシンセティックス技術情報7月号，国際ジオシンセティックス学会日本支部，Vol.13，No.2，pp.27-30，1998.7
- 270) 太田秀樹，飯塚敦，平田昌史，山上尚幸，横田善弘，大森晃治：「現在」を知って「将来」を予測する－ジオシンセティックス補強土構造物を例にとりて，ジオシンセティックス技術情報11月号，

国際ジオシンセティックス学会日本支部, Vol.14, No.3, pp.54-61, 1998.11

- 271) 飯塚敦：本号の編集にあたって，土と基礎，地盤工学会，Vol.49, No.6 (巻頭言)，2001.6
- 272) 飯塚敦：編集後記，土と基礎，地盤工学会，Vol.49, No.12, 2001.12
- 273) 飯塚敦：神戸アラカルト写真で見るー，親土木入門，土木学会誌，Vol.88, pp.62-65, 2003.3
- 274) 飯塚敦，前川太：総括，ディスカッションセッション 12 土構造物の品質評価ー技術的アプローチを探る，第 38 回地盤工学研究発表会特集号，土と基礎，Vol.51, No.12, pp.19-20, 2003.12
- 275) 飯塚敦，第 2 回アジア地域不飽和土国際会議開催報告，土と基礎，Vol.52, No.4, Ser.No.555, p.37, 2004.4
- 276) 飯塚敦，他 11 名：地盤工学における継続教育ーG-CPD システムの活用状況と今後ー，「第 3 期技術者教育委員会の取り組み」，第 39 回地盤工学研究発表会，ディスカッションセッション 2，地盤工学会，pp.8-15, 2004.6
- 277) 前川太・飯塚敦：総括，ディスカッションセッション 18 土構造物の品質評価ー技術的アプローチを探る II，第 39 回地盤工学研究発表会特集号，土と基礎，Vol.52, No.12, Ser.No.563, p.46, 2004.12
- 278) 飯塚敦，他 4 名：第 3 期技術者教育委員会の取り組み，-試案プログラムの実施と国際化教育-，土と基礎，地盤工学会，Vol.52, No.12, Ser.No.563, pp.115-118, 2004.12
- 279) Ohta,H, Alonso,E, Iizuka,A. and Kuwano,R.: Technical session 1b: Laboratory testing(II): Strength, Large deformation and hydraulic properties; Proceeding of the 16th International Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering, 12-16 September, 2005, Osaka, Japan, pp.3145-3147, 2005.9
- 280) 三田地利之; 飯塚敦; 川口貴之; 本多眞; 金子治：新しい地圏環境を探る，環境・安全・情報，土と基礎，Vol.53, No.12, pp.21-24, 2005.12
- 281) 飯塚敦：価値観の混沌を抜け出し，次世代の手本となるトップランナーたれ，土木学会誌×建築雑誌 共同企画「子どもたちへのメッセージ」，40 人の提言，p.21，土木学会誌，Vol.91, 2006.6 および，建築雑誌，Vol.121, No.1548, p.22, 2006.6
- 282) 飯塚敦，平成 18 年(2006 年)5 月 27 日ジャワ島中部地震被害調査速報，自然災害科学，Vol.25, No.2, pp.233-249, 2006.9
- 283) 飯塚敦，地盤工学会・本部主催講習会のあり方について，論説，地盤工学会，土と基礎，Vol.55, No.1, SerNo.588, pp.6-7, 2007.1
- 284) 高橋章浩，本多眞，飯塚敦，宮田喜壽：自然災害へ挑む：地盤工学の限界と可能性 (技術者交流特別セッション,< 小特集> 第 42 回地盤工学研究発表会)，土と基礎，Vol.55, No.12, pp.14-16, 2007.12
- 285) 太田秀樹，飯塚敦，平成 19 年度地盤工学会技術開発賞を受賞して，学会賞受賞報告，地盤工学会，Vol.56, No.8, 地盤工学会誌，p.52, 2008.8
- 286) 高井敦史，肴倉宏史，八村智明，打木弘一，大嶺聖，飯塚敦：津波堆積物とその特性 (< 特集> 汚染土壌・廃棄物等の処理)，地盤工学会誌，Vol.62, No.2, pp.16-19, 2013

学会講習会／セミナー・テキスト・刊行物

- 287) 飯塚敦：地盤の変形解析への適用ー弾塑性もしくは弾粘塑性構成モデルを用いた試みー，地盤工学における有限要素法入門講習会テキスト，土質工学会関西支部，pp.21-72, 1992.9.
- 288) Iizuka,A. and Sugimoto,M. : Lecture note of analytical methods in geotechnical engineering, AIT (Asia

Institute of Technology) Library, GT32-1993, pp.1-129, 1993.11

- 289) 飯塚敦：有限要素法による盛土地盤の変形と安定，土質工学における数値解析手法とその適用テキスト，土質工学会中国支部，pp.28-47，1993.11
- 290) 飯塚敦：ベーン試験と一軸試験，地盤工学会関西支部講習会，講座 土と基礎テキスト，地盤工学会関西支部，1995.11
- 291) 飯塚敦：構成式・有効応力解析の基礎と静的解析事例，地盤工学会講習会，これからの数値解析テキスト，地盤工学会，pp.1-31，1998.1
- 292) 田村武，飯塚敦，他 20 名：土質力学のバックグラウンド，「地盤工学における物理数学の応用に関する研究委員会」プレ・サマースクールテキスト，地盤工学会，pp.1-151，1999.9
- 293) 飯塚敦：地盤の変形，弾性論から見た地盤変形，現場技術 3 者のための土質工学講習会⑧テキスト，地盤工学会関西支部，pp.1-36，1999.11
- 294) 田村武，飯塚敦，他 20 名：物理数学的にみた土質力学，「地盤工学における物理数学の応用に関する研究委員会」サマースクールテキスト，地盤工学会，pp.1-245，2000.8

学会／委員会報告・その他

- 295) Ohta,H. and Iizuka,A.: DACSAR (Deformation Analysis Considering Stress-induced Anisotropy and Reorientation) Soil/water coupled F.E. program and its manual, Research Report of Construction Laboratory, Dept. of Civil Engineering, Kyoto University, pp.1-36, 1987.10
- 296) 矢富盟祥，八嶋厚，飯塚敦，佐野郁雄：非共軸 Cam-clay 有限変形弾塑性論によるせん断帯の生成，第 36 期第 5 回塑性工学部門委員会，材料学会，pp.1-30，1988.11.
- 297) 飯塚敦：せん断帯生成シミュレーションにおける有限要素の選択について，地盤の変形の局所化に関する研究委員会，土質工学会，1992.3.
- 298) Iizuka,A.: A note on the elasto-viscoplastic formulation, Research Report, Dept. of Civil Engineering, Virginia Polytechnic Institute and State University, pp.1-56, 1996.8
- 299) Ohta,H., Iizuka,A., Kobayashi,I. and Arai,K. : Geotechnical education using full-scaled experiments, Task Report, TC31 of ISSMGE, Proc. of 15th International Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering (ICSMGE), 2001.9
- 300) Iizuka,A, Kim, E.R., Kawai,K. and Hirata,M.: Application of an elasto-plastic model with subloading surface to compacted soils, Proc. of 1st International Workshop on New Frontiers in Computational Geotechnics, Alberta, Canada, 2002.9.
- 301) 飯塚敦 編集，継続教育の具体案—次期委員長として，「知識社会における地盤技術者の生涯教育と学会の役割」平成 13 年度~平成 14 年度技術者教育委員会成果報告書より，第 38 回地盤工学研究発表会資料，地盤工学会，2003.7
- 302) 飯塚敦，他：欧州における性能設計を支える制度に関する調査報告，土木学会地盤工学委員会，土構造の性能評価に関する小委員会，2006.4
関連報告：土木学会地盤工学委員会，土構造の性能評価に関する小委員会・WG(1)：盛土構造物の性能規定化における課題と展望，委員会報告，土木学会論文集 C，土木学会，Vol.63, No.4, pp.993-1000，2007.11
- 303) 飯塚敦，地盤環境解析学—まずは小さな一歩から—，研究紹介，神戸大学最前線，神戸大学，

Vol.8, pp.22-23, 2007.9

- 304) 飯塚敦, 地盤変状・塩害シミュレータを用いた合意形成の試み, 平成 22 年度 第 28 回神戸大学工学部公開講座・ひょうご講座, テーマ: スーパーコンピューティングが拓く明日の暮らし—システム情報学研究科発足によせて—, 神戸大学工学部, pp.11-16, 2010.6-7
- 305) 飯塚敦, 超広域・複合災害に備える: 第 1 回南海トラフ地震 (平成 26 年 2 月 18 日, 3 面), 第 2 回科学的知見による被害想定 (平成 26 年 2 月 25 日, 6 面), 第 3 回レジリエントな国土強靱化 (平成 26 年 3 月 4 日, 6 面), 第 4 回専門的知見の総結集 (平成 26 年 3 月 11 日, 6 面), 自由民主党機関紙「自由民主」連載記事, 2014

JSCE: Japan Society of Civil Engineers (土木学会)

JSSMFE: Japanese Society of Soil Mechanics and Foundation Engineering (at present, JGS: Japanese Geotechnical Society) (土質工学会, 現在: 地盤工学会)

JSPS: Japan Society for the Promotion of Science (日本学術振興会)

IGS: International Geosynthetic Society (国際ジオシンセティックス学会)

ICSMFE: International Conference on Soil Mechanics and Foundation Engineering (at present, ICSMGE: International Conference of Soil Mechanics and Geotechnical Engineering) (国際土質力学及び基礎会議, 現在: 国際土質力学及び地盤工学会議)

ISSMFE: International Society of Soil Mechanics and Foundation Engineering (at present, ISSMGE: International Society of Soil Mechanics and Geotechnical Engineering) (国際土質工学会, 現在: 国際地盤工学会)

SEAGS: South-East Asian Geotechnical Society (東南アジア地盤工学会)